

音 楽 (一 般)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
17	教育出版	教 出◆	音楽 017-72・017-83・017-84	A B 変型 276	令和6年
27	教育芸術社	教 芸◆	音楽 027-72・027-83・027-84	A B 変型 294	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
6冊	教出、教芸

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

【学年の目標】

〔第1学年〕

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

〔第2、3学年〕

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

【参考：中学校学習指導要領解説 音楽編「第1章 総説 2 音楽科改訂の趣旨及び要点」から(抜粋)】

中央教育審議会答申においては、小学校、中学校及び高等学校を通じた音楽科の成果と課題について、次のように示されている。

- 音楽科、芸術科（音楽）においては、音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図を持って表現したり味わって聴いたりする力を育成すること、音楽と生活との関わりに関心を持って、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育むこと等に重点を置いて、その充実を図ってきたところである。
- 一方で、感性を働かせ、他者と協働しながら音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさや価値等を考えたりしていくこと、我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを一層味わえるようにしていくこと、生活や社会における音や音楽の働き、音楽文化についての関心や理解を深めていくことについては、更なる充実が求められるところである。
- 今回の学習指導要領の改訂においては、これまでの成果を踏まえ、これらの課題に適切に対応できるよう改善を図っていくことが必要である。

これらの成果と課題を踏まえた中学校音楽科の改訂の基本的な考え方は、次のとおりである。

- ・ 感性を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや美しさなどを見いだしたりすることができるよう、内容の改善を図る。
- ・ 音や音楽と自分との関わりを築いていけるよう、生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての理解を深める学習の充実を図る。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 「表現」の教材数（曲数）	教科の目標	曲
b 「鑑賞」の教材数（曲数）		
c [共通事項]の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所数	中学校学習指導要領解説音楽編「第2章 音楽科の目標及び内容 第2節 音楽科の内容」	箇所
d [共通事項]の「知識」について示された箇所数		
e 言語活動について具体的に示された箇所数	中学校学習指導要領解説音楽編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」	箇所
f 我が国や郷土の伝統音楽の曲数と資料が掲載されたページ数	中学校学習指導要領解説音楽編「第2章 音楽科の目標及び内容 2 音楽科の内容」	曲、ページ
g 諸外国の音楽の曲数と資料が掲載されたページ数		曲、ページ
h コンピュータや教育機器を活用する箇所数	中学校学習指導要領解説音楽編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」	箇所
i 発展的な内容を取り上げている箇所数	中学校学習指導要領「第1章総則」	箇所

イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究項目のa、b、e及びiとの関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

a-1、f、g 表現（歌唱）（別紙2-1）

a-2、f、g 表現（器楽）（別紙2-1）

a-3、f、g 表現（創作）（別紙2-1）

b、f、g 鑑賞（別紙2-2）

c [共通事項]の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所（別紙2-3）

d [共通事項]の「知識」について示された箇所（別紙2-3）

e 言語活動について具体的に示された箇所（別紙2-3）

f 我が国や郷土の伝統音楽（別紙2-1）（別紙2-2）

g 諸外国の音楽（別紙2-1）（別紙2-2）

i 発展的な内容を取り上げている箇所（別紙2-4）

<その他>

*1 国旗・国歌の扱い（別紙2-5）

*2 防災や自然災害の扱い（別紙2-6）

*3 オリンピック・パラリンピックの扱い（別紙2-7）

*4 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

<調査の結果、*4については記載のないことを確認した。>

② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 「表現」では、歌唱、器楽、創作の活動ごとに、「思考力、判断力、表現力等」、「知識」及び「技能」に関する資質・能力を育てるために必要な指導内容が示されている。そこで、3分野の内容項目における指導のねらいを達成させるための教材を調査する。（a-1、a-2、a-3）
- ・ 「鑑賞」では、「思考力、判断力、表現力等」、「知識」に関する資質・能力を育てるために必要な指導内容が示されている。そこで、観点ごとに分類した指導のねらいを達成させるための題材や教材を調査する。（b）
- ・ 言語活動については、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導は、生徒一人一人の音楽に対する価値意識を広げることにつながると示されている。そこで、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る学習活動についての題材や教材を調査する。（e）
- ・ 我が国や郷土の伝統音楽については、中学校学習指導要領解説音楽編「第1章 総説 2 音楽科改訂の趣旨及び要点」の中に、以下の記述がある。

⑥ 我が国や郷土の伝統音楽に関わる指導の充実

中央教育審議会答申において、「我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを一層味わえるようにしていくこと」の「更なる充実が求められる」とされたことを踏まえ、次のように改訂した。

歌唱や器楽の指導において、我が国の伝統的な歌唱や和楽器を扱う際の配慮事項として、「生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるよう工夫すること」を新たに示した。

また、中学校学習指導要領解説音楽編「第4章 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」の中に、以下の記述がある。

2(2) 各学年の「A表現」の(1)の歌唱の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

ア 歌唱教材は、次に示すものを取り扱うこと。

(7) 我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切で、生徒にとって親しみがもてたり意欲が高められたり、生活や社会において音楽が果たしている役割が感じ取れたりできるもの。

(4) 民謡、長唄などの我が国の伝統的な歌唱のうち、生徒や学校、地域の実態を考慮して、伝統的な声や歌い方の特徴を感じ取れるもの。なお、これらを取り扱う際は、その表現活動を通して、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるよう工夫すること。

(ウ) 我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち、我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの又は我が国の文化や日本語のもつ美しさを味わえるもの。なお、各学年において、以下の共通教材の中から1曲以上を含めること。

「赤とんぼ」 三木 露風 作詞 山田 耕筰 作曲

「荒城の月」 土井 晩翠 作詞 滝 廉太郎 作曲

「早春賦」 吉丸 一昌 作詞 中田 章 作曲

「夏の思い出」 江間 章子 作詞 中田 喜直 作曲

「花」 武島 羽衣 作詞 滝 廉太郎 作曲

「花の街」	江間 章子	作詞	團 伊玖磨	作曲
「浜辺の歌」	林 古溪	作詞	成田 為三	作曲

このことから、我が国や郷土の伝統音楽について取り扱う教材についても調査する。

教材の地域的・歴史的な範囲等は「我が国及び諸外国の様々な音楽」と幅広いため、指導のねらいに適切な教材であるか、具体的に教材の内容（題材名、国や地域、時代、作曲家や演奏形態など）について調査する。

- ・ 発展的な内容については、中学校学習指導要領第1章総則「第2 教育課程の編成 3 教育課程の編成における共通事項 (1) 内容等の取扱い イ」において、「学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」と示されている。また、(3)「指導計画の作成等に当たっての配慮事項 イ」では、「各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること」と示されている。

これらのことから、発展的な内容の扱いの有無、取り上げている内容の具体的な学習の内容について調査する。(i)

- ・ コンピュータや教育機器の使用については、中学校学習指導要領解説音楽編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」において、「生徒が様々な感覚を関連付けて音楽への理解を深めたり、主体的に学習に取り組んだりすることができるようにするため、コンピュータや教育機器を効果的に活用できるよう指導を工夫すること」とあるため、コンピュータや教育機器を活用する箇所を調査する。
- ・ 国旗・国歌については、学習指導要領に基づき、国旗・国歌に対する正しい認識をもたせ、それらを尊重する態度を育てることが大切であることから、その扱いについて調査する>(*1)
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する>(*2)
- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する>(*3)
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する>(*4)

③ 調査研究の方法

a 表現(a-1歌唱・a-2器楽)

題材(項目)名 曲名 国や地域 作詞家 作曲家 演奏形態等

a 表現(a-3創作)

題材(項目)名 具体的な学習活動

b 鑑賞

題材(項目)名 曲名 国や地域 時代 作曲家 演奏形態等

e 言語活動について

言語活動について具体的に示された箇所についてその学習内容を調査する。

h コンピュータや教育機器を活用する箇所についてその学習内容を調査する。

- i 発展的な内容については、義務教育諸学校教科用図書検定基準第2章2(16)に基づき、発展的な学習内容以外のものと区別して、発展的な学習内容であることが明示されているもの

を整理する。

- * 1 国旗・国歌について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- * 2 防災や自然災害について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- * 3 オリンピック・パラリンピックについて取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- * 4 固定的な性別役割分担意識に関する記述等を調査する。

(2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

以下の観点により、箇条書きで記述する。

- ア 目次、表記、表現の工夫
- イ 絵、図、写真、資料、楽譜等の工夫
- ウ 単元構成の工夫
- エ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫
- オ ユニバーサルデザインの視点
- カ デジタルコンテンツの扱い
- キ その他

「別紙1」【(1) 内容 ア 調査研究の総括表】(中学校 音楽一般)

項目 発行者	a 「表現」の教材数(曲数)				数 b 「鑑賞」の教材数(曲)	c [共通事項]の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所数			d [共通事項]の「知識」について示された箇所数			e 言語活動について具体的に示された箇所数			f 我が国や郷土の伝統音楽の曲数と資料が掲載されたページ数			g 諸外国の音楽の曲数と資料が掲載されたページ数			を h 活用する箇所数 コンピュータや教育機器	て i いる発展的な内容を取り上げ
	歌唱	器楽	創作	計		表現	鑑賞	計	表現	鑑賞	計	表現	鑑賞	計	表現の曲数	鑑賞の曲数	れ資料が掲載されたページ数	表現の曲数	鑑賞の曲数	れ資料が掲載されたページ数		
教 出	66	5	6	77	50	77	28	105	142	123	265	32	30	62	17	23	75	8	27	70	29	1
教 芸	57	2	10	69	119	85	52	137	250	175	425	57	39	96	13	37	86	6	80	70	119	0
平均値	61.5	3.5	8.0	73.0	84.5	81.0	40.0	121.0	196.0	149.0	345.0	44.5	34.5	79.0	15.0	30.0	80.5	7.0	53.5	70.0	74.0	0.5

(調査結果) 表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入した。

- aの「歌唱」は、掲載されている全ての楽曲数を数えた。
「器楽」は、楽器を使う活動が掲載されている箇所数を数えた。
「創作」は、題材数を数えた。
- bの「鑑賞」の教材数は、掲載されている楽曲数を数えた。
- cは学習指導要領〔共通事項〕の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所数を数えた。
- dは学習指導要領〔共通事項〕の「知識」について示された箇所数を数えた。
- eは「感じ取ったことを言葉で説明する」、「根拠をもって批評する」など、言語活動について具体的に示された箇所を「表現」・「鑑賞」の領域別に数えた。
- fの「我が国や郷土の伝統音楽」は、明治時代以前に成立した様式による音楽を数えた。郷土の音楽は時代にかかわらず、全て数えた。
- gの「諸外国の音楽」は、我が国を除く諸外国の芸術音楽・民俗音楽・ポピュラー音楽等を表現・鑑賞の領域別に数えた。
- f・gの「資料」は、題材に関連する資料楽譜・図表・挿絵・写真等がカラーで掲載されているページ数を数えた。(題材に関連のないイラスト等を除く。)

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a-1、f、g 表現(歌唱)】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	作詞家	作曲家	編曲家等	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽	
教 出	1	思いをこめて楽しく歌おう。	光の道	日本	トモ子	名田綾子		同声二部合唱			
		曲の特徴を生かして歌おう。	「サウンド・オブ・ミュージック」からDO-RE-MI(ドレミの歌)	アメリカ	ハマースタイン二世	ロジャーズ	ベギー葉山(日本語詞)	同声二部合唱		○	
			エーデルワイス	アメリカ	ハマースタイン二世	ロジャーズ	阪田寛夫(日本語詞) 三田山仁人(編曲)	同声二部合唱		○	
		曲想の変化を生かして歌おう。	夢の翼	日本	海原真也	赤尾暁		同声二部合唱			
		曲の形式を生かして歌おう。	夏の思い出	日本	江間章子	中田喜直		同声二部合唱	○		
			赤とんぼ	日本	三木露風	山田耕柞		独唱・斉唱	○		
		パートの役割を生かして合わせて歌おう。	明日を信じて	日本	小林真人	小林真人	森永千代子(編曲)	混声二部合唱			
			飛び立とう君の空へ	日本	牧原ひつじ	森谷風太		混声三部合唱			
		曲想の変化を生かして歌おう。	あの丘の向こうから	日本	牧原ひつじ	黒江駿介		混声三部合唱			
		民謡の特徴を捉えてふさわしい声で歌おう。	ソーラン節	日本		北海道民謡	野木雄大(編曲)	独唱・斉唱	○		
			かりぼし切り歌	日本		宮崎県民謡	仲原加昌(採譜)	独唱・斉唱	○		
		全体の構成を理解して表現を楽しもう。	くいしんぼうのラップ	日本	和田崇(作・構成)				三部ヴォイスアンサンブル		
		お囃子の唱歌を理解して表現を楽しもう。	唱歌でポン	日本	和田崇(構成)				三部ヴォイスアンサンブル	○	
		ケチャを体験しよう。	ケチャ	インドネシア	不詳				四部リズム・アンサンブル		○
		歌のアルバム	チャイム チャイム!	日本	和合亮一	新実徳英			同声二部合唱		
			心ひらけば	日本	和田崇	和田崇			同声二部合唱		
			明日への勇氣	日本	前田克樹	前田克樹	鮎川薫(編曲)		同声二部合唱		
			海が明けるよ	日本	名取和彦	赤尾暁			混声二部合唱 部分混声三部合唱		
			希望という名の花を	日本	山崎朋子	山崎朋子			混声三部合唱		
			マイバラード	日本	松井孝夫	松井孝夫			混声三部合唱		
君と歩こう	日本		梶野知子	梶野知子			混声三部合唱				
心をこめて	日本		吉岡ひとみ	吉岡ひとみ	松井孝夫(編曲)		混声三部合唱				
ほらね、	日本		いとうけいし	まつしたこう			混声三部合唱				
故郷	日本	高野辰之	岡野貞一	足本憲治(編曲)		同声二部合唱	○				
国歌	君が代	日本	古歌	林広守			独唱・斉唱				

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a-1、f、g 表現(歌唱)】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	作詞家	作曲家	編曲家等	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽
教 出	2・3上	作者の思いを歌声にのせて合唱しよう。	生命が羽ばたくとき	日本	人見敬子	西澤健治		混声三部合唱		
		曲の特徴を生かして歌おう。	You Can Fly!	日本	小林真人	小林真人	赤尾暁(編曲)	混声三部合唱		
		曲の形式を生かして歌おう。	浜辺の歌	日本	林古溪	成田為三		独唱・斉唱	○	
			早春賦	日本	吉丸一昌	中田章		独唱・斉唱	○	
			花の街	日本	江間章子	團伊玖磨		独唱・斉唱	○	
		パートの役割を生かして歌おう。	翼をください	日本	山上路夫	村井邦彦	横山菁児	混声三部合唱		
		曲想を味わいながら合わせて歌おう。	そよぐ風の中で	日本	うらん	西澤健治		混声三部合唱		
		曲想を味わいながら、合わせて歌おう。	この星のどこかで	日本	和泉薫	赤尾暁		混声三部合唱		
		唱歌を用いて「越天楽」を体験しよう(打ちものと筆筆の唱歌)	「越天楽」	日本			伊野義博(採譜・構成)	独唱・斉唱	○	
		能の音楽を体験しよう	能「羽衣」	日本		作者不詳	小早川修(採譜・構成)	独唱・斉唱	○	
		歌のアルバム	知らない世界を	日本	きむらえいり	相澤直人		混声三部合唱		
			語りあおう	日本	劇団四季文芸部	鈴木邦彦	川崎絵都夫(編曲)	混声三部合唱		
			大切なもの	日本	山崎朋子	山崎朋子		混声三部合唱		
			HEIWAの鐘	日本	仲里幸広	仲里幸広	白石哲也(編曲)	混声三部合唱		
			VOICES	日本	トモ子	中内悠介		混声四部合唱		
			時計台の鐘	日本	高階哲夫	高階哲夫	佐藤麻耶(編曲)	混声三部合唱		
			雪の降る街を	日本	内村直也	中田喜直		独唱・斉唱		
			Dear Friend	日本	及川眠子	坂元優		混声三部合唱		
			アメージング・グレイス	アメリカ	ニュートン	作曲者不明	森垣桂一(編曲)	混声四部合唱		○
			ほたるの光	イギリス(スコットランド)		スコットランド民謡	稲垣千穎(日本語詞) 池田裕之(編曲)	混声三部合唱		○
故郷	日本	高野辰之	岡野貞一	足本憲治(編曲)	混声三部合唱	○				
国歌	君が代	日本	国歌	林広守		独唱・斉唱				

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a-1、f、g 表現(歌唱)】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	作詞家	作曲家	編曲家等	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽
教 出	2・3 下	曲の形式を生かして歌おう。	花	日本	武島羽衣	滝廉太郎		同声二部合唱	○	
			荒城の月	日本	土井晩翠	滝廉太郎		独唱・斉唱	○	
			荒城の月	日本	土井晩翠	滝廉太郎	山田耕筰(補作編曲)	独唱・斉唱	○	
		曲の特徴を捉えて、ふさわしい声で歌おう。	婦れソレントへ	イタリア	G.デ・クルティス	E.デ・クルティス	徳永政太郎(訳詞)	独唱・斉唱		○
			Top of the world	アメリカ	ベティス、カーペンター	ベティス、カーペンター	足本憲治(編曲)	同声二部合唱		○
		曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして合わせて歌おう。	旅立ちの日に	日本	小嶋登	坂本浩美	松井孝夫(編曲)	混声三部合唱		
			ぜんぶ	日本	さくらももこ	相澤直人		混声三部合唱		
		長唄「勸進帳」をうたおう	長唄「勸進帳」より	日本	三世並木五瓶	四世杵屋六三郎	小塩さとみ(採譜・構成)	独唱・斉唱	○	
		歌のアルバム	たしかな一歩	日本	桜田直子	桜田直子		混声三部合唱		
			記念日～希望のバトン～	日本	里乃塚玲央	西澤健治		混声三部合唱		
			椰子の実	日本	島崎藤村	大中寅二		独唱・斉唱		
			火の山の子守歌	日本	谷川雁	新実徳英		混声四部合唱		
			地球の息吹につつまれて	日本	鈴木須美子	赤尾暁		混声三部合唱		
			世界がひとつの家族のように	日本	鮎川めぐみ	千住明	菅野夏生(編曲)	混声四部合唱		
			揚げば尊し	日本	不明	不明	前沢信幸(編曲)	混声四部合唱		
			さようなら	日本	倉品正二	倉品正二	佐藤麻耶(編曲)	混声三部合唱		
			大地讃頌(カンタータ「土の歌」から)	日本	大木惇夫	佐藤真		混声四部合唱		
			故郷	日本	高野辰之	岡野貞一	足本憲治(編曲)	混声四部合唱	○	
		国歌	君が代	日本	古歌	林広守		独唱・斉唱		

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a-1、f、g 表現(歌唱)】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	作詞家	作曲家	編曲家等	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽	
教 芸	1	思いをこめて明るい声で合唱しよう。	We' ll Find The Way ~はるかな道へ	日本	杉本竜一	杉本竜一		同声二部合唱			
		作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱しよう。	その先へ	日本	山崎朋子	山崎朋子		同声二部合唱			
		曲の構成を理解して演奏しよう。	主人は冷たい土の中に(静かに眠れ)	アメリカ		S. C. フォスター	武井君子(日本語詞) 浦田健次郎(編曲)		独唱・斉唱とリコーダー		○
		歌詞や旋律、伴奏から情景を想像して歌おう。	浜辺の歌	日本	林古溪	成田為三		独唱・斉唱	○		
		情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。	赤とんぼ	日本	三木露風	山田耕筰		独唱・斉唱	○		
		拍子によって、響きのある声で合唱しよう。	夢の世界を	日本	美龍明子	橋本祥路		混声三部合唱			
		曲想を生かして合唱しよう。	君をのせて	日本	宮崎駿	久石譲	三宅悠太(編曲)		混声三部合唱		
		声や音楽の特徴を生かして日本の民謡を歌おう。	ソーラン節	日本		北海道民謡	伊藤多喜雄(監修・採譜)		独唱・斉唱	○	
		歌い継ごう日本の歌	涙そうそう	日本	森山良子	BEGIN	佐井孝彰(編曲)		同声二部合唱		
			上を向いて歩こう	日本	永六輔	中村八大			独唱・斉唱		
		心通う合唱	友達の友達	日本	御徒町凧	アベタカヒロ			同声二部合唱		
			Yes!!	日本	北方寛文	北方寛文			同声二部合唱		
			1/6の夢旅人2002	日本	樋口了一	樋口了一	佐井孝彰(編曲)		同声二部合唱		
			unlimited(アンリミテッド)	日本	桑原永江	若松欽			同声二部合唱		
			天球図	日本	覚和歌子	森山至貴			混声三部合唱		
			大切なもの	日本	山崎朋子	山崎朋子			混声三部合唱		
			星座	日本	長井理佳	長谷部匡俊			混声三部合唱		
			あすという日が	日本	山本瓊子	八木澤教司			混声三部合唱		
		COSMOS	日本	ミマス	ミマス	富澤裕(編曲)		混声三部合唱			
		国歌		国歌「君が代」	日本	古歌	林広守		独唱・斉唱		

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a-1、f、g 表現(歌唱)】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	作詞家	作曲家	編曲家等	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽
教 芸	2・ 3 上	曲想の変化を感じ取って、響きのある声で合唱しよう。	明日を向いて	日本	新沢としひこ	アベタカヒロ		混声三部合唱		
		拍にのって、旋律の動きを理解して合唱しよう。	道を歩けば	日本	山下晃代	山下祐加		混声三部合唱		
		パートの役割を理解して合唱しよう。	翼をください	日本	山上路夫	村井邦彦	鶴原勇夫(編曲)	混声三部合唱		
		情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。	夏の思い出	日本	江間章子	中田喜直		同声二部合唱	○	
		歌詞と旋律が生み出す雰囲気を味わいながら歌おう。	荒城の月	日本	土井晩翠	滝廉太郎		独唱・斉唱	○	
			荒城の月	日本	土井晩翠	滝廉太郎	山田耕伴(補作編曲)	独唱・斉唱	○	
		曲想を生かして表情豊かに歌おう。	サンタ ルチア (Santa Lucia)	イタリア		ナポリ民謡	小松清(日本語詞)	独唱・斉唱		○
		曲想の変化を生かして表情豊かに歌おう。	Joyful, Joyful		H. v. ダイク	ベートーヴェン、 M. ウォーレン	東野ひろあき(日本語詞) 滝口亮介(編曲)	独唱・斉唱		○
		声や音楽の特徴を生かして長唄を唄おう。	長唄「勸進帳」から	日本	三世並木五瓶	四世杵屋六三郎	今藤政太郎(監修・採譜)	独唱・斉唱	○	
		声や音楽の特徴を生かして義太夫節を語ろう。	義太夫節「野崎村の段」から	日本	近松半二		豊竹呂勢太夫(監修・採譜)	独唱・斉唱	○	
		歌い継ごう日本の歌	夏は来ぬ	日本	佐佐木信綱	小山作之助	三宅悠太(編曲)	混声四部合唱		
			やさしさに包まれたなら	日本	荒井由実	荒井由実	アベタカヒロ(編曲)	同声二部合唱		
		心通う合唱	ハートのアンテナ	日本	杉本竜一	杉本竜一	富澤裕(編曲)	混声三部合唱		
			My Own Road 一僕が創る明日	日本	梶野知子	梶野知子		混声三部合唱		
			未来への旅	日本	杉本深由起	佐井孝彰		混声三部合唱		
			時の旅人	日本	深田じゅんこ	橋本祥路		混声三部合唱		
			14-fourteen-	日本	弓削田健介	弓削田健介		混声三部合唱		
蛍の光	スコットランド				スコットランド民謡	稲垣千穎(日本語詞) 市川都志春(編曲)	混声三部合唱			
国歌	国歌「君が代」	日本	古歌	林広守		独唱・斉唱				

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a-1、f、g 表現(歌唱)】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	作詞家	作曲家	編曲家等	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽
教 芸	2・3 下	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に合唱しよう。	花	日本	武島羽衣	滝廉太郎		同声二部合唱	○	
		詩や曲の背景を理解して歌おう。	花の街	日本	江間章子	團伊玖磨		独唱・斉唱	○	
		情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。	早春賦	日本	吉丸一昌	中田章	中田喜直(伴奏編曲)	独唱・斉唱	○	
		声が響き合う美しさを味わいながら合唱しよう。	ふるさと	日本	高野辰之	岡野貞一	三宅悠太(編曲)	混声三部合唱		
		曲想を生かして表情豊かに歌おう。	帰れソレントへ(Torna a Surriento)	イタリア	G. B. デ クルティス	E. デ クルティス	芙龍明子(日本語詞)	独唱・斉唱		○
		曲の雰囲気を生かして英語の歌を歌おう。	Hey Jude	イギリス	J. レノン、P. マッカートニー	J. レノン、P. マッカートニー		独唱・斉唱		○
		声や音楽の特徴を生かして謡を謡おう。	謡「敦盛」から	日本	世阿弥		清水寛二(監修・採譜)	独唱・斉唱	○	
			中之舞	日本			清水寛二(楽譜構成)	独唱・斉唱	○	
		歌い継ごう日本の歌	花は咲く	日本	岩井俊二	菅野よう子	菅野よう子(編曲)	同声二部合唱		
			椰子の実	日本	島崎藤村	大中寅二		独唱・斉唱		
		心通う合唱	忘れることなんかできない	日本	若松敏	若松敏		混声三部合唱		
			この町が好き	日本	才木奈津子	横山潤子		混声三部合唱		
			旅立ちの日に	日本	小嶋登	坂本浩美	松井孝夫(編曲)	混声三部合唱		
			タイムリーパー	日本	覚和歌子	三宅悠太		混声三部合唱		
			春に	日本	谷川俊太郎	木下牧子		混声三部合唱		
			大地讃頌(カンタータ「土の歌」から)	日本	大木惇夫	佐藤真		混声四部合唱		
国歌	国歌「君が代」	日本	古歌	林広守		独唱・斉唱				

「別紙2-1」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 a-2、f、g 表現(器楽)】 (中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	作詞家	作曲家	編曲家等	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽
教出	2・3上	曲の形式を生かして歌おう。	浜辺の歌	日本	林古溪	成田為三		リコーダー独奏・斉奏	○	
		リズムパターンをつくろう。	オーラ・リー	アメリカ		ブルトン		リコーダー独奏・斉奏		○
		平調子の特徴を生かして音楽をつくろう	さくらさくら	日本		日本古謡		リコーダー・箏独奏	○	
		唱歌を用いて「越天楽」を体験しよう	「越天楽」	日本			伊野義博(採譜・構成)	箏、釣太鼓、鉦鼓、鞆鼓	○	
		能の音楽を体験しよう	能「羽衣」	日本			小早川修(採譜・構成)	謡、大鼓、小鼓、太鼓	○	
教芸	1	曲の理解して演奏しよう。	主人は冷たい土の中に (静かに眠れ)	アメリカ		S. C. フォスター	武井君子(日本語詞) 浦田健次郎(編曲)	独唱・斉唱とリコーダー		○
	2・3下	声や音楽の特徴を生かして謡を謡おう。	「中之舞」	日本			清水寛二(楽譜構成)	笛・大鼓・小鼓	○	

「別紙2-1」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a-3、f、g 表現(創作)】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	具体的な学習活動	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽	
教 出	1	日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう	七五調の短い歌詞をつくってリズムをつけ、言葉の抑揚にそって音をあてはめる。チャレンジとして、音を増やしたり終わりの音を工夫したりし、みんなで聴き合う。			
		全体の構成を考えながら音楽をつくろう	グループで表現したいテーマを決め、言葉で表す。テーマに沿った簡単なストーリーを想像し、構成や言葉の重ね方を工夫して、イメージに合った音楽を創作する。			
	2・3上	リズムパターンをつくろう	基本のリズムを変化させ、リズムパターンをつくる。「オーラ・リー」にふさわしい16小節のリズムパターンをつくり演奏する。チャレンジとして、リズムパターンを、体や楽器を使って表現する。		○	
		平調子の特徴を生かして音楽をつくろう	平調子で使われている音とリズムを組み合わせて、短い旋律をつくり、リコーダーや箏で表現する。さらに、「さくらさくら」のイメージに合うように作品をつくる。	○		
	2・3下	言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう	身近な言葉のリズムや抑揚を生かして8拍の曲を二種類つくり、2~3人で重ねて表現する。また、つくった作品を繰り返して表現したり、他の人の作品とつなげて表現したりして楽しむ。			
		CMソングをつくろう	地域をPRする歌詞をつくり、3音もしくは5音で16拍の旋律を創作する。つくった旋律を繰り返して、自由に構成して完成させる。			
教 芸	1	リズムゲーム	好きなリズムを選び、4分の4拍子1小節のリズムを創作する。			
		リズムチャレンジ	4小節のリズムを創作する。			
		音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう。	リズムチャレンジで創作したリズムに、音のつながり方を工夫しながら旋律をつくる。			
		構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろう。	場面に合う音素材を探して音楽をつくる。グループで話し合いながら、構成を工夫する。			
	2・3上	言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう。	言葉の抑揚に合わせて、4分の4拍子4小節の旋律をつくる。			
		リズムゲーム	好きなリズムを選び、4分の4拍子1小節のリズムを創作する。			
		リズムチャレンジ	4小節のリズムを創作する。			
		音の特徴や重なり方、構成を工夫してリズムアンサンブルをつくろう。	いくつかのリズムを重ねながらリズムアンサンブルを創作する。			
		2・3下	和音の動きに合わせてまとまりのある旋律をつくろう。	ハ長調の音階を使い、和音の動きに合わせて順次進行、跳躍進行を用いながら段階的に旋律を創作する。		
			伴奏を工夫して自分だけの音楽をつくろう。	創作した旋律に合うように、旋律とリズム伴奏との重なり方や曲全体の構成を考えながらリズム伴奏を付けて創作した音楽に合うように、楽器や音色を選ぶ。		

「別紙2-2」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 b、f、g 鑑賞】 (中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	時代	作曲者名	演奏形態等	f 我が国や郷土の伝統音楽	g 諸外国の音楽
教 出	1	郷土のさまざまな民謡を味わいながら鑑賞しよう。	谷茶前	日本		沖縄県民謡	独唱・斉唱	○	
			こきりこ節	日本		富山県民謡	独唱・斉唱	○	
		曲の形式を捉えながら鑑賞しよう。	「和声と創意の試み」第1集「四季」から「春」第1楽章他(計第3楽章まで)	イタリア	バロック	ヴィヴァルディ	独奏ヴァイオリンと弦楽合奏		○
		曲想の変化を感じ取って鑑賞しよう。	魔王 他(計2曲)	オーストリア 他	ロマン派 他	シューベルト 他	独唱		○
		箏曲の多様な表現を鑑賞しよう。	箏曲「六段の調」	日本	江戸時代	八橋検校	箏独奏	○	
		日本とアジアをつなぐ音	グージョン「漁舟唱晩」 他(計2曲)	中国 他					○
		尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう。	尺八曲「鹿の遠音」	日本		作曲者不詳	二重奏	○	
		わが国やアジア地域の、多様で豊かな声による表現を鑑賞しよう。	天台声明 他(計6曲)	日本 他	6世紀ごろ 他			○	○
		どんな特徴があるかな?	きらきら星変奏曲	オーストリア	古典派	モーツァルト	ピアノ独奏		○
		2・3上	曲の形式を捉え、パイプオルガンによる表現を鑑賞しよう。	小フーガ ト短調	ドイツ	バロック	J. S. バッハ	パイプオルガン独奏	
	曲の構成を聴き取り、オーケストラによる表現を鑑賞しよう。			交響曲第5番 ハ短調 作品67	ドイツ	古典派	ベートーヴェン	管弦楽	
	曲の特徴と構成のおもしろさを味わいながら鑑賞しよう。		ボレロ	フランス	近代・現代	ラヴェル	管弦楽		○
			組曲「惑星」から第1曲「火星」	イギリス	近代・現代	グスターヴ・ホルスト	管弦楽		○
	雅楽の多様な表現を鑑賞しよう		雅楽「越天楽」(平調) 一管絃一	日本		日本古曲	管絃	○	
	能の多様な表現を鑑賞しよう。		能「羽衣」キリから 「東遊びの数々に～」の部分	日本	室町時代	作者不詳	能	○	
			能「敦盛」キリから 「波の打者抜いて～」の部分	日本	室町時代～安土・桃山時代	世阿弥	能	○	
	郷土のさまざまな芸能を味わいながら鑑賞しよう。		鹿踊 他(計12曲)	日本				○	
	どんな特徴があるかな?		「アルルの女」第1組曲「前奏曲」	フランス	ロマン派	ビゼー	管弦楽		○
	2・3下		曲想を感じ取り、音楽の背景を理解して鑑賞しよう。	ブルタバ(モルダウ)連作交響詩「我が祖国」から	チェコ	ロマン派	スメタナ	管弦楽	
		交響詩「フィンランディア」		フィンランド	ロマン派	シベリウス	管弦楽		○
		オペラの豊かな表現を鑑賞しよう。	オペラ「アイーダ」から 第2幕 第2場	イタリア	ロマン派	ヴェルディ	歌劇		○
		歌舞伎の豊かな表現を鑑賞しよう。	歌舞伎「勧進帳」	日本	江戸時代	四世杵屋六三郎	歌舞伎	○	
		文楽の豊かな表現を鑑賞しよう。	文楽「義経千本桜」から 二段め 大物浦の段	日本	江戸時代	二世竹田出雲・三好松洛・並木千柳(合作)	文楽	○	
		多様な芸能や音楽の表現を鑑賞しよう。	世界のさまざまな芸能や音楽 ジンジュ(京劇)「西遊記」から 他(計4曲)	中国 他			音楽劇		○
		日本と西洋の音楽の歩み	オラトリオ「メサイア」第2部から「ハレルヤ」 他(計5曲)	ドイツ 他	バロック 他	ヘンデル 他			○

「別紙2-2」 【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 b、f、g 鑑賞】 (中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	国や地域	時代	作曲者名	演奏形態等	f 我が国や 郷土の伝統 音楽	g 諸外国の 音楽
教 芸	1	イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。	映画「ジョーズ」から「ジョーズのテーマ」他(計5曲)	アメリカ・日本	現代	J.ウィリアムズ 他	管弦楽		○
		音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。	春 ー第1楽章ー(「和声と創意の試み」第1集「四季」から)他(計4曲)	イタリア	バロック	ヴィヴァルディ	独奏ヴァイオリンと弦楽合奏		○
		曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。	魔王 ーErlkonigー他(計2曲)	オーストリア	ロマン派	シューベルト	独唱		○
		日本に古くから伝わる合奏を聴こう。	雅楽「平調 越天楽」ー管絃ー	日本		作曲者不詳	管絃	○	
		日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう。	箏曲「六段の調」	日本	江戸時代	八橋検校	箏独奏	○	
		人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴こう。	日本の民謡 南部牛追唄 他(計3曲)	日本				○	
		アジア各地の音楽を聴こう。	ドウドウク 他(計5曲)	アジア 他					○
	2・3 上	曲想を生かして表情豊かに歌おう。	オ ソーレ ミオ 他(計2曲)	イタリア		E.ディ カープア 他	独唱・斉唱		○
		旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう。	フーガ ト短調 他(計2曲)	ドイツ	バロック	バッハ	パイプオルガン独奏		○
		曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう。	交響曲第5番 ハ短調	ドイツ	古典派	ベートーヴェン	管弦楽		○
		オペラに親しみ、その音楽を味わおう。	「アイーダ」から	イタリア	ロマン派	ヴェルディ	歌劇		○
		歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう。	歌舞伎「勸進帳」	日本	江戸時代	四世杵屋六三郎	歌舞伎	○	
		文楽に親しみ、その音楽を味わおう。	文楽「新版歌祭文」から「野崎村の段」	日本	江戸時代	近松半二	義太夫節	○	
		世界のさまざまな声の音楽を味わおう。	世界の諸民族の音楽 フラメンコ(スペイン) 他(計4曲)	スペイン 他					○
	2・3 下	作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を味わおう。	ブルタバ(モルダウ)(連作交響詩「我が祖国」から)他(計2曲)	チェコ 他	ロマン派 他	スメタナ 他	管弦楽		○
		楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わおう。	ポレロ	フランス	現代	ラヴェル	管弦楽		○
		曲の特徴を感じ取りながら、音楽を味わおう。	組曲「展覧会の絵」から	ロシア	ロマン派	ムソルグスキー/ラヴェル編曲	管弦楽		○
		日本に古くから伝わる尺八の音楽を味わおう。	尺八楽「巢鶴鈴慕」	日本	江戸時代	作曲者不詳	尺八独奏	○	
		能に親しみ、その音楽を味わおう。	能「敦盛」	日本	室町時代～安土・桃山時代	世阿弥 作	能	○	
		沖縄の伝統芸能「組踊」に親しもう。	「執心鐘入」	日本		玉城朝薫 作	組踊	○	
		伝統音楽の魅力を見つけよう	能「安宅」	日本	室町時代～安土・桃山時代	作者不詳	能	○	
			歌舞伎「勸進帳」	日本	江戸時代	四世杵屋六三郎	歌舞伎	○	
			文楽「鳴響安宅新聞」 「勸進帳の段」	日本	江戸時代	二世豊澤団平	文楽	○	
		世界のさまざまな楽器の音楽を味わおう。	タンソ 他(計3曲)	朝鮮半島 他					○
	ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味わおう。	ウィ ウィル ロック ユー 他(計3曲)	イギリス 他		ブライアン メイ 他			○	
	耳でたどる音楽史	グレゴリオ聖歌 他(計69曲)						○	○

「別紙2-3」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 c 【共通事項】の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所、d 【共通事項】の「知識」について示された箇所】(中学校 音楽一般) ※網掛け部分は鑑賞

発行者	学年	c 【共通事項】の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所	d 【共通事項】の「知識」について示された箇所
教 出	1	<ul style="list-style-type: none"> ●P10 歌詞の内容を味わい、強弱や音域に応じた歌い方を工夫しよう。 ●P14 それぞれの曲の特徴を生かした表現を工夫しよう。 ●P16 それぞれの曲の、速度、拍子、テクスチュア(音の重なり方)などについて調べ、比べてみよう。 ●P16 曲の特徴を生かして表現の仕方を工夫してみよう。 ●P16 強弱の変化や、はずんだ感じや滑らかな感じなど、歌い方についてどのような工夫ができるか考えてみましょう。 ●P17 曲想の変化を感じ取り、表現を工夫しよう。 ●P20 曲想と歌詞の内容との関わりを生かして表現を工夫しよう。 ●P22 曲の形式を理解して表現を工夫しよう。歌詞の内容や曲想を感じ取って歌おう。 ●P25 大きく表現すると、どのような演奏になるだろう?逆に小さくすると、どのようになるだろう? ●P26 主旋律や曲想の変化を生かして表現を工夫しよう。 ●P28 音楽のまとまりを生かして表現を工夫しよう。 ●P31 主旋律の声部を確かめ、曲にふさわしいバランスを考えながら表現しよう。 ●P32 曲想と曲の構成との関わりを生かして表現を工夫しよう。 ●P34 民謡にふさわしい声で、囃しことばや伴奏に合わせて表現を工夫しよう。 ●P36 音楽の役割を考えながら、多様な表現を鑑賞しよう。 ●P38 言葉のつながり方を工夫して、短い旋律をつくろう。 ●P38 言葉のリズムやまとまりを意識して、イメージに合う音を選ぼう。 ●P40 言葉のつながり方や重ね方、全体のまとまりを工夫して音楽をつくろう。 ●P40 言葉のリズムを意識して、ストーリーを表す言葉を選ぼう。 ●P42 速度や強弱を自由に設定して表現を工夫しよう。 ●P44 曲想の変化を形式やソネットと関わらせながら鑑賞しよう。 ●P48 曲想の変化を物語の進行と関わらせながら鑑賞しよう。 ●P52 箏の音色や表現を味わいながら鑑賞しよう。 ●P57 言葉と楽器の音色との関係をつまえて表現を工夫しよう。 ●P58 音楽の特徴や役割をつまえて、多様性を考えながら鑑賞しよう。 ●P60 日本とアジアの声の表現について、それぞれの音楽の特徴をみていこう。 ●P63 変奏1と変奏8を聴いて、どんな違いを感じましたか?その違いは、音楽を形づくっている要素の何によるものなのか、もう一度注意して聴いてみましょう。 ●P66 軽快な速度とリズムを生かして歌おう。 ●P67 強弱と音域を意識して、歌詞の内容を味わいながら歌おう。 ●P68 主旋律を確かめて楽しみながら歌おう。 ●P70 二つの声部の関わりを生かして歌おう。 ●P72 主旋律や曲の山場(クライマックス)を確かめながら表現を工夫しよう。 ●P74 楽曲全体の構成を理解し、曲想を味わいながら合わせて歌おう。 ●P76 他のパートを聴きながら、パートの役割を生かして合わせて歌おう。 ●P78 主旋律を意識し、声部の役割を生かしてゆったり歌おう。 ●P80 強弱の変化や転調の効果を生かして、合わせて歌おう。 ●P84 歌詞の内容を味わいながら歌おう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●P10 声の出し方や発音、歌う姿勢を身につけよう。 ●P11 二分休符、旋律、強弱、拍子 ●P14 二つの曲の曲想の違いを理解して歌おう。 ●P14 ブレス、コーダ ●P15 ダ・カーボ ●P16 強弱、速度、拍子、テクスチュア ●P17 AとBの響きの違いや強弱の変化を理解して歌おう。 ●P17 ダル・セーニョ ●P20 曲想と形式との関わりを理解して、音域に応じた声で歌おう。 ●P21 ピアニッシモ、三連符、ディミヌエンド、テヌート、フェルマータ ●P25 拍子、強弱、速さ、4分の4拍子、4分の3拍子、4分の2拍子 ●P26 曲全体の構成と自分のパートの役割を理解して歌おう。旋律、主旋律 ●P27 全休符 ●P28 自分のパートの役割とパート同士のバランスを理解して歌おう。 ●P29 リタルダンド、ア・テンポ、フォルティッシモ、アクセント ●P30 ヘ音譜表、ト音譜表、音名 ●P31 主旋律、副旋律 ●P32 主旋律を担当するパートを確かめ、他の声部を聴きながら歌おう。 ●P33 アツチエレランド ●P34 声の出し方や歌い合わせ方などの特徴を理解して歌おう。四分の二拍子、拍子 ●P35 旋律の装飾やまとまりをつまえて歌おう。 ●P35 リズム、拍、拍節のリズム、非拍節のリズム、音頭一同形式、コブシ、産み字 ●P36 声の出し方や合わせ方、リズムや音階などから特徴を聴き取ろう。 ●P37 拍節、コブシ、音階、五音音階、律音階、都節音階、沖繩音階、民謡音階 ●P38 旋律、リズム ●P39 旋律 ●P40 構成、リズム、(音の)重ね方 ●P42 二分の二拍子、速度、強弱 ●P44 リトルネッロ形式による曲の構成を聴き取ろう。形式、リトルネッロ形式、Tutti、Solo ●P45 リトルネッロ形式 ●P47 旋律、反復や変化、強弱、音色、通奏低音、ヘ音譜表、和音 ●P48 曲全体の構成を理解して、各登場人物の表現を聴き取ろう。 ●P49 旋律 ●P52 用いられる音階や曲の構成などの特徴を聴き取ろう。平調子 ●P53 速度の変化を聴き取ってみよう。音色、リズム、拍数、旋律 ●P56 尺八の音色や奏法などの特徴を聴き取ろう。間 ●P57 お囃子の唱歌を理解して表現を楽しもう。四分休符 ●P58 声の出し方や歌い合わせ方などの特徴を聴き取ろう。拍、拍子、音色 ●P59 音の重なり方 ●P60 音色、拍、速さ、構成 ●P61 リズム、拍、速度、強弱、 ●P62 音楽を形づくっている要素 ●P64 音色、旋律、速度 ●P69 三連符 ●P71 レガート、調

「別紙2-3」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 c 【共通事項】の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所、d 【共通事項】の「知識」について示された箇所】(中学校 音楽一般) ※網掛け部分は鑑賞

発行者	学年	c 【共通事項】の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所	d 【共通事項】の「知識」について示された箇所
教 出	2 ・ 3 上	<ul style="list-style-type: none"> ●P10 歌詞の内容を味わい、強弱や音域に応じた歌い方を工夫しよう。 ●P10 旋律のまとまりを捉えて、音域に応じた発声で歌おう。 ●P12 歌詞の発音や他の声部との関わりを捉え、曲の特徴を生かした表現を工夫しよう。 ●P18 曲想を感じ取り、形式を生かしてふさわしい表現を工夫しよう。 ●P20 歌詞の内容やフレーズを生かして表現を工夫しよう。 ●P23 形式を生かしてどのように表現を工夫するか、考えたことを交流して歌ってみよう。 ●P24 歌詞のまとまりやフレーズを生かして表現を工夫しよう。 ●P27 パートが重なっていく効果を生かして表現を工夫しよう。 ●P28 全体の響きを味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう。 ●P30 曲想を味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう。 ●P32 リズムの組み合わせや反復を工夫して、リズムパターンをつくろう。 ●P34 旋律のつながり方を工夫して、まとまりのある音楽をつくろう。 ●P34 平調子の響きや旋律のまとまりを捉えてリズムを選ぼう。 ●P36 パイプオルガンの音色を味わいながら鑑賞しよう。 ●P40 曲想と曲全体の構成を関わらせて味わいながら鑑賞しよう。 ●P44 曲の特徴と曲全体の構成を関わらせながら鑑賞しよう。 ●P47 拍子やリズムの特徴に着目し、曲想の変化を感じ取って鑑賞しよう。 ●P48 雅楽の楽器の音色や旋律の特徴を捉えながら鑑賞しよう。 ●P51 拍やリズム、箏篋の旋律の特徴を感じ取ろう。打ちものや箏篋は、どのようにすると合うかな。 ●P54 それぞれの音楽の特徴と舞台の表現との関連を考えながら鑑賞しよう。 ●P58 音楽の役割を考えながら、多様な表現を鑑賞しよう。 ●P68 歌詞の内容を味わい、音域に応じた発声で歌おう。 ●P70 旋律のまとまりや反復を生かして、表現を工夫しよう。 ●P72 歌詞のまとまりとフレーズとの関連を生かして表現を工夫しよう。 ●P74 楽曲全体の構成を理解し、曲想を味わいながら合わせて歌おう。 ●P77 リード、コーラス、ベースの役割を理解し、ア・カペラによる美しいハーモニーで歌おう。 ●P78 歌詞の内容を味わい、全体の響きを聴きながら合わせて歌おう。 ●P79 歌詞の内容を味わい、転調の効果を生かして表現を工夫しよう。 ●P80 強弱の変化や声部の役割を生かして、表現を工夫しよう。 ●P82 英語の歌詞の発音や旋律のまとまりを意識し、美しいハーモニーで表現しよう。 ●P83 別れや感謝の気持ちを歌にこめ、曲想を感じ取りながら歌おう。 ●P84 歌詞の内容を味わいながら、全体の響きを感じ取って歌おう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●P12 旋律の重なり方を理解して、合わせて歌おう。 ●P14 テクスチャ、旋律、リズム ●P18 曲想と形式との関わりを理解して、強弱や音域に応じた声で歌おう。 ●P19 拍子、形式 ●P20 曲想と形式との関わりを理解して、強弱や音域に応じた声で歌おう。 ●P21 フレーズ ●P23 旋律、形式、二部形式 ●P24 歌詞の内容を味わい、曲の構成を理解して歌おう。 ●P25 モデラート ●P27 曲想と曲全体の構成との関わりを理解して歌おう。 ●P28 曲想と曲全体の構成との関わりを理解して、他の声部を聴き取りながら歌おう。 ●P30 曲想と曲全体の構成との関わりを理解して、全体の響きを聴きながら歌おう。 ●P32 音符のつなげ方によるリズムの違いを理解して、つなげる音符を選ぼう。リズム ●P33 リズム ●P34 旋律、平調子、リズム ●P35 リズム、旋律 ●P36 フーガという形式による曲の構成を聴き取ろう。 音色 ●P37 形式、主題、調、構成、音色 ●P38 主題、応答、旋律 ●P39 主題、フーガ、応答、調、構成 ●P40 ソナタ形式による曲の構成を聴き取ろう。リズム、動機、主題、構成、ソナタ形式 ●P41 リズム、動機、休符、 ●P42 ソナタ形式、構成 ●P43 リズム、動機 ●P44 リズムや旋律の反復による曲全体の構成を聴き取ろう。リズム、旋律、構成、反復、主題 ●P45 主題 ●P46 リズム、主題、音色、旋律、強弱 ●P47 5拍子、拍子、リズム、主題 ●P48 雅楽の背景を理解して表現の特徴を聴き取ろう。拍、音色、旋律 ●P50 序破急 ●P51 拍、リズム、旋律 ●P54 謡の声の出し方や、囃子の楽器の合わせ方を聴き取ろう。 ●P57 間、リズム、旋律、拍 ●P58 舞や動きと関係する音楽の特徴を聴き取ろう。 ●P62 音楽を形づくっている要素 ●P63 主題、旋律、音楽を形づくっている要素 ●P72 フレーズ

「別紙2-3」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 c 【共通事項】の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所、d 【共通事項】の「知識」について示された箇所】(中学校 音楽一般) ※網掛け部分は鑑賞

発行者	学年	c 【共通事項】の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所	d 【共通事項】の「知識」について示された箇所
教 出	2. 3 下	<ul style="list-style-type: none"> ●P12 曲想を感じ取り、形式を生かしてふさわしい表現を工夫しよう。 ●P16 短調の旋律を味わいながら、ふさわしい表現を工夫しよう。 ●P20 フレーズや速度の変化を生かして表現を工夫しよう。 ●P22 英語の歌詞の発音、リズムや強弱の設定を生かして表現を工夫しよう。 ●P24 フレーズや速度の変化を生かして、ふさわしい表現を工夫しよう。 ●P26 フレーズや強弱の変化を生かして、ふさわしい表現を工夫しよう。 ●P28 合唱の指揮の仕方について音楽の特徴と合わせて考えてみよう。 ●P30 言葉の反復や重ね方を生かして、まとまりのある表現で工夫しよう。 ●P30 言葉のリズムやまとまりを捉えて、テーマに合う言葉を選ぼう。 ●P32 選んだ言葉のつなげ方を工夫してCMソングをつくろう。 ●P32 言葉のリズムや抑揚を捉えて、テーマに合う言葉を選ぼう。 ●P32 言葉や音階の特徴を生かしてつくって表現しよう。 ●P34 曲想と曲全体の構成との関わりを考えながら鑑賞しよう。 ●P37 曲想の変化を感じ取りながら鑑賞しよう。 ●P38 音楽と舞台による表現の関連を考えながら鑑賞しよう。 ●P38 他の芸術と関係する音楽の役割や効果を聴き取ろう。 ●P42 歌舞伎の音楽の役割や効果を考えながら鑑賞しよう。 ●P42 音楽の特徴を舞台の表現と関わらせ、多様な表現を聴き取ろう。 ●P48 音楽と人形の表現を関連づけながら鑑賞しよう。 ●P50 物語を表現する音楽の多様性を聴き取ろう。 ●P52 舞台芸術かの表現から、それぞれの音楽の特徴をみていこう。 ●P59 各声部の現れ方やテクスチャを聴き取りながら、合唱とオーケストラによる豊かな表現を味わってみよう。 ●P60 ソナタ形式による構造を聴き取りながら、弦楽四重奏の豊かな表現を味わってみよう。 ●P61 楽曲全体の構成と曲想の変化との関わりを感じ取りながら、ピアノの豊かな表現を味わってみよう。 ●P62 女声独唱とアンサンブルによる伴奏との関わりや、独特な響きを感じ取りながら、楽曲全体の曲想を味わってみよう。 ●P63 電子音や楽器の音色や響き、それらのテクスチャが意味するものを想像し、現代音楽の魅力を考えながら鑑賞してみよう。 ●P70 曲全体の構成を理解し、強弱の変化を生かして表現を工夫しよう。 ●P72 A, B, Cの曲想とその変化を感じ取って表現を工夫しよう。 ●P74 五七調の歌詞のまとまりを生かして表現を工夫しよう。 ●P75 速度や強弱の変化を生かし、ア・カペラによる美しいハーモニーで表現しよう。 ●P76 大自然をテーマにした歌詞を味わい、曲想を感じ取って歌おう。 ●P78 歌詞の内容を味わい、曲の山場を考えて歌おう。 ●P80 歌詞の内容を味わい、混声四部合唱で豊かに表現しよう。 ●P81 歌詞の内容を味わい、気持ちをこめて歌おう。 ●P82 歌詞の内容や声部の役割を生かし、豊かなハーモニーで表現しよう。 ●P84 歌詞の内容を味わいながら、全体の響きを感じ取って歌おう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●P12 曲想と形式や歌詞との関わりを理解して、強弱や音域に応じた発声で歌おう。 ●P13 十六分休符 ●P17 アンダンテ、リズム ●P19 二部形式、形式、強弱、プレス、フレーズ ●P20 曲の特徴を理解して、曲種に応じた声の出し方で歌おう。 ●P21 同主調、転調 ●P22 曲の特徴を理解して、曲種に応じた声の出し方で歌おう。二分の二拍子 ●P24 曲の特徴を理解して、他の声部や伴奏と合わせて歌おう。 ●P26 曲想と歌詞の関わりを理解して、強弱や音域に応じた発声で歌おう。 ●P28 速度、フレーズ、拍、旋律、強弱 ●P29 旋律、速度、二分音符、強弱 ●P30 リズム、フレーズ、反復、重ね方 ●P31 リズム ●P32 リズム、旋律 ●P33 旋律、構成 ●P34 音楽の背景を理解して曲全体の構成を聴き取ろう。 ●P48 太夫の声の出し方や、三味線との合わせ方を聴き取ろう。音色 ●P50 音楽と物語との関わりを理解して鑑賞しよう。 ●P53 音楽を形づくっている要素 ●P58 拍節的でないリズム、単旋律、教会旋法、多声音楽 ●P59 テクスチャ、通奏低音、多声音楽 ●P60 形式、ソナタ形式 ●P61 形式、構成、標題音楽 ●P62 調、拍子 ●P63 音楽の要素、拍子、無調音楽、調、音色、テクスチャ

発行者	学年	c 【共通事項】の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所	d 【共通事項】の「知識」について示された箇所
教 芸	1	<ul style="list-style-type: none"> ●P10 歌詞にこめられた思いを生かし、発声の仕方に気を付けながら、表現を工夫して歌いましょう。 ●P10 旋律の重なり方に注目し、互いの声を聴き合って歌いましょう。 ●P10 歌詞にこめられた思いは、音楽にどのように表されているだろう。 ●P12 旋律の動きや強弱に気を付けながら、表現を工夫して歌いましょう。 ●P12 歌詞にこめられた思いは、音楽にどのように表されているだろう。 ●P18 旋律の特徴や強弱の変化に気を付けながら、表現を工夫して歌いましょう。 ●P18 旋律の動きと強弱との関わりはどのようにになっているだろう。 ●P19 3段目は、旋律の特徴が他の段とは異なっているので、気持ちが伝わるようにのびやかに歌いたい。そのためにはどんな工夫をすればいいかな。 ●P20 課題や条件に沿って、創意工夫して旋律をつくりましょう。 ●P24 8分の6拍子でつくられた旋律の特徴や強弱の変化を生かし、表現を工夫して歌いましょう。 ●P24 歌詞に描かれた情景は、音楽にどのように表されているだろう。 ●P26 「浜辺の歌」の音楽の特徴を捉えて、表現を工夫しましょう。 ●P28 4分の3拍子でつくられた旋律の特徴や強弱の変化を生かし、表現を工夫して歌いましょう。 ●P28 言葉の抑揚と旋律の動きとの関わりはどのようにになっているだろう。 ●P30 AとBの曲想の違いを感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。 ●P30 AとBの曲想の違いは、何によって生み出されているだろう。 ●P32 「夢の世界を」の音楽の特徴を捉えて、表現を工夫しましょう。 ●P34 主旋律と副旋律の役割や、旋律の重なり方の違いに気を付けて、表現を工夫して歌いましょう。 ●P34 短調の旋律が生み出す雰囲気を感じ取りながら、表現を工夫して歌いましょう。 ●P34 旋律の重なり方と曲想との関わりはどのようにになっているだろう。 ●P36 音楽から得られるイメージと、音楽の特徴との関わりに注目しながら、映画「ジョーズ」から「ジョーズのテーマ」を聴きましょう。 ●P36 映像と音楽との関わりや、イメージをもたらず音楽の役割について考えましょう。 ●P36 映像作品において、音楽はどのような役割を果たしているだろう。 ●P38 課題や条件に沿って、創意工夫して音楽をつくりましょう。 ●P40 オーケストラの豊かな響きや曲想の変化を体全体で感じて、指揮をしましょう。 ●P42 独奏と合奏との対比や、情景を表したソネットと音楽との関わりや、音楽のよさや美しさを味わって第1楽章を聴きましょう。 ●P42 ソネットに描かれている春の様子は、音楽のどのようなところから感じられるだろう。 ●P46 詩の内容や音楽の特徴に気を付けて、場面の様子を想像しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P46 語り手、父、子、魔王それぞれの旋律の雰囲気や、歌い方の違いに注目しながら聴きましょう。 ●P46 詩に描かれている情景は、曲や演奏のどのようなところから感じられるだろう。 ●P49 「魔王」の歌唱部分の楽譜を見ながら音楽を聴き、音楽の特徴と歌詞が表す情景や心情との関わりについて考えましょう。 ●P52 楽器の音色や旋律の特徴などに気を付けながら、雅楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P52 雅楽のよさや美しさは、音楽のどのようなところから感じられるだろう。 ●P54 打物のリズム、箏笛と箏の旋律、旋律の楽器とその他の楽器との音の重なり方などに注目して考えてみよう。 ●P55 箏の唱歌を歌って、旋律の特徴を感じ取りましょう。 ●P56 楽器の音色や旋律の特徴、速度の変化などに気を付けながら、箏曲のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P56 箏曲のよさや美しさは、音楽のどのようなところから感じられるだろう。 ●P58 声の音色、節回しやリズムの特徴などに気を付けながら、日本の民謡のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P58 日本の民謡のよさや美しさは、音楽のどのようなところから感じられるだろう。 ●P60 演奏を聴いてまねたりしながら声の音色や節回しの特徴を感じ取り、表現を工夫して歌いましょう。 ●P60 「ソーラン節」の特徴を生かして歌うにはどのようにしたらよいだろう。 ●P64 楽器や声の音色、旋律の特徴などに気を付けながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P64 アジア各地の音楽のよさや美しさは、音楽のどのようなところから感じられるだろう。 ●P72 「曲の山」がどこにあるかを感じ取り、曲の構成を生かして表現を工夫しましょう。 ●P74 旋律のリズムの特徴を生かした歌い方を工夫しましょう。 ●P80 互いによく聴き合って歌いましょう。強弱の変化やrit.を生かした表現を工夫しましょう。 ●P82 音色や強弱を工夫して歌いましょう。自分にとって「大切なもの」とは何かを考え、その思いを歌にのせましょう。 ●P86 リズムや調、音の重なり方などの変化の特徴を感じ取り、各部分にふさわしい表現を工夫しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●P10 音色、テクスチャ ●P11 2分休符 ●P12 旋律・強弱 ●P13 D. S. ●P16 リズム、音色 ●P17 リズム、反復、変化 ●P18 旋律、強弱、形式、構成 ●P19 Andante、フェルマータ、旋律、強弱、リズム、二部形式、構成、速度 ●P20 リズム、旋律、和音、ハ長調、4分の4拍子 ●P21 リズム、旋律、和音、拍 ●P24 リズム、旋律、強弱、形式 ●P25 rit.、全体符、二部形式、構成、旋律、強弱 ●P26 拍子、旋律、強弱、形式、リズム ●P27 旋律の動き(音のつながり方)、強弱 ●P28 言葉の美しい響きを生かしながら、発音に気を付けて歌いましょう。速度、旋律、強弱 ●P30 音色、リズム、テクスチャ、構成 ●P31 テヌート、アテンポ ●P32 リズム、旋律、テクスチャ、強弱、構成 ●P33 強弱、旋律、ヘ音記号 ●P34 旋律、テクスチャ、強弱 ●P35 レガート、3連符、ホ短調 ●P36 音色、リズム、速度、強弱 ●P38 音色、テクスチャ、強弱、構成 ●P39 音色、強弱、対照、反復、リズム ●P40 旋律、強弱、構成、アレグロ、フォルティッシモ ●P41 拍子、強弱、速度 ●P42 音色、旋律、テクスチャ、強弱、形式、独奏、合奏 ●P43 通奏低音、和音、構成、リトルネッロ形式、旋律、独奏、合奏、形式 ●P45 旋律、音色、強弱、音の重なり方 ●P46 音色、旋律、テクスチャ、強弱 ●P47 ビアニッシモ ●P49 旋律、リズム ●P52 音色、旋律、テクスチャ ●P53 拍 ●P54 音色、リズム、旋律、テクスチャ、拍、フレーズ、間 ●P55 拍子、旋律、音色 ●P56 平調子、音色、旋律、速度、構成、都節音階 ●P57 平調子、速度、序破急 ●P58 音色、リズム、旋律、形式、音頭一同形式 ●P59 旋律、節回し、コプシ、拍のある音楽、拍のない音楽 ●P60 音色、旋律、テクスチャ、節回し、コプシ ●P61 コプシ ●P63 序破急、間、音階 ●P64 音色、リズム、速度、旋律、節回し、コプシ ●P65 五音音階、音色、旋律、速度、リズム ●P71 ダカーボ ●P73 16分休符 ●P89 モデラート ●P91 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成

発行者	学年	c 【共通事項】の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所	d 【共通事項】の「知識」について示された箇所
教 芸	2 ・ 3 上	<ul style="list-style-type: none"> ●P10 AとBの曲想の違いを感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。 ●P10 AとBの曲想の違いは、何によって生み出されているだろう。 ●P12 8分の6拍子の特徴や曲想の変化を感じ取りながら、歌詞の内容や旋律の動き、強弱に気を付けて、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。 ●P12 歌詞にこめられた思いは、音楽にどのように表されているだろう。 ●P14 ABCそれぞれの曲想の違いを感じ取り、パートの役割を考えながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。 ●P14 ABCそれぞれの曲想と旋律の重なり方は、どのように関わっているだろう。 ●P16 音楽の特徴から合唱版ならではの魅力を捉えて、表現を工夫しましょう。 ●P20 曲想と歌詞との結び付きに着目し、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。 ●P20 楽譜に書かれている記号や用語などをどのように解釈して歌うとよいだろう。 ●P22 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解して、表現を工夫しましょう。 ●P24 短調の旋律が生み出す独特な雰囲気を感じ取りながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。 ●P24 「荒城の月」の原曲と補作編曲されたもの、それぞれのよさは、どのようなところだろう。 ●P26 カンツォーネの特徴を感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。 ●P26 カンツォーネという音楽には、どのような特徴が感じられるだろう。 ●P28 AとBの曲想の違いを感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。 ●P28 AとBの曲想の違いは、何によって生み出されているだろう。 ●P29 どう歌ったら、AとBそれぞれのよさが出せるかな。 ●P30 課題や条件に沿って、創意工夫して旋律をつくりましょう。 ●P34 課題や条件に沿って、創意工夫して音楽をつくりましょう。 ●P36 バイオリンの豊かな響きを感じ取りながら、次々と現れる主題に注目して、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P36 旋律が重なり合うことによって、どのようなよさや美しさが生まれるだろう。 ●P38 オーケストラの豊かな響きを感じ取りながら、動機の現れ方に注目して、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P38 「交響曲第5番 ハ短調」のよさや美しさは、音楽のどのようなところから感じられるだろう。 ●P42 曲の構成や曲想の変化を捉え、音楽を味わおう ●P46 音楽を指揮で表現して、より豊かな音楽活動につなげよう。 ●P48 登場人物の気持ちを想像しながら、それぞれの曲の特徴を捉え、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P48 音楽、文学、演劇、舞踊、美術などが一体となったオペラのよさや美しさを味わいましょう。 ●P48 「アイダ」のよさや美しさは、どのようなところから感じられるだろう。 ●P56 声や楽器の音色、旋律の特徴などに気を付けながら、長唄のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P56 音楽、舞踊、演技が一体となった歌舞伎のよさや美しさを味わいましょう。 ●P56 歌舞伎のよさや美しさは、どのようなところから感じられるだろう。 ●P58 演奏を聴いたりまねしたりしながら声の音色や節回しの特徴を感じ取り、表現を工夫して唄いましょう。 ●P58 長唄の特徴を生かして唄うにはどのようにしたらよいだろう。 ●P61 オペラと歌舞伎のよさについて考えましょう。 ●P64 声や楽器の音色、旋律の特徴などに気を付けながら、義太夫節のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P64 太夫、三味線、人形が一体となって表現する文楽のよさや美しさを味わいましょう。 ●P64 文楽のよさや美しさは、どのようなところから感じられるだろう。 ●P66 模範演奏を聴いたりまねたりしながら声の音色やセリフの抑揚、節回しの特徴を感じ取り、表現を工夫して語りましょう。 ●P66 義太夫節の特徴を生かして語るにはどのようにしたらよいだろう。 ●P70 声の音色や旋律の特徴などに気を付けながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P70 世界各地のさまざまな音楽のよさや美しさは、音楽のどのようなところから感じられるだろう。 ●P72 歌詞の表す情景と、パートの役割や伴奏の雰囲気の変化に注目して表現を工夫しましょう。 ●P74 声部の関わり合いを理解して、曲にふさわしい表現を工夫しましょう。 ●P76 曲にふさわしい表現を工夫しましょう。 ●P78 曲にふさわしい表現を工夫しましょう。 ●P80 曲にふさわしい表現を工夫しましょう。 ●P82 音色や強弱、速度などを工夫しましょう。 ●P86 音楽の特徴を捉えて、表現を工夫しましょう。 ●P87 各部分の特徴や役割を感じ取って表現を工夫しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●P10 音色、旋律、テクスチャ、構成、二長調 ●P12 音色、リズム、テクスチャ、構成 ●P13 クレシェンド ●P14 リズム、テクスチャ、構成、変ロ長調、コーダ ●P16 リズム、テクスチャ、強弱、構成 ●P20 音色、リズム、旋律、強弱、形式 ●P21 ディミヌエンド ●P22 旋律、強弱、フレーズ、二部形式 ●P24 旋律 ●P26 音色、旋律、強弱 ●P28 リズム、速度、旋律 ●P29 リズム、速度、旋律 ●P30 旋律、4分の4拍子、リズム、民謡音階 ●P31 旋律、リズム、民謡音階 ●P34 音色、リズム、テクスチャ、構成、4分の4拍子、反復、変化、対照 ●P35 リズム、構成、反復、変化、対照 ●P36 音色、テクスチャ、形式、主題、フーガ ●P37 音色、形式、フーガ ●P38 音色、リズム、旋律、形式、構成、ソナタ形式、動機 ●P40 構成、複合三部形式、主題、ソナタ形式 ●P41 動機、速度、リズム、音色 ●P42 ソナタ形式、動機、主題、音色、リズム、旋律、調性、強弱、構成 ●P43 ソナタ形式 ●P46 リズム、旋律、強弱、構成、動機、主題、4分の2拍子、4拍子 ●P47 拍子、強弱、拍、速度 ●P48 音色、旋律、テクスチャ ●P56 音色、リズム、速度、旋律 ●P58 音色、旋律 ●P61 音色、重なり方 ●P64 音色、速度、旋律 ●P66 音色、旋律 ●P67 音色 ●P70 音色、旋律、テクスチャ、リズム ●P83 アツェレランド ●P86 リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成 ●P92 音楽を形づくっている要素 ●P94 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 c 【共通事項】の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所、d 【共通事項】の「知識」について示された箇所】(中学校 音楽一般) ※網掛け部分は鑑賞

発行者	学年	c 【共通事項】の「思考力、判断力、表現力等」について示された箇所	d 【共通事項】の「知識」について示された箇所
教 材	2・3 下	<ul style="list-style-type: none"> ●P12 歌詞の内容と旋律や強弱との関わりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。 ●P12 歌詞に描かれた情景や日本語のもつ美しさは、音楽にどのように表されているだろう。 ●P16 詩にこめられた思いが、旋律や強弱にどのように生かされているかを感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。 ●P16 詩にこめられた思いは、旋律の動きやまとまり、強弱で、どのように表されているだろう。 ●P20 歌詞の内容を理解し、拍子や強弱に気を付けながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。 ●P20 歌詞に描かれた心情は、拍子や強弱で、どのように表されているだろう。 ●P23 音の重なりを気を付けて、互いのパートをよく聴き合いながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。 ●P23 曲にふさわしい表現で歌うには、パートごとにどのような工夫をしたらよいだろう。 ●P24 短調と長調の違いを感じ取り、速度や強弱に気を付けながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。 ●P24 歌詞に描かれた心情は、調の違いや速度、強弱で、どのように表されているだろう。 ●P26 英語の語感を生かした旋律やリズムに気を付けながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌いましょう。 ●P26 曲の雰囲気を生かして歌うにはどのようにしたらよいだろう。 ●P28 課題や条件に沿って創意工夫して旋律をつくりましょう。 ●P30 課題や条件に沿って創意工夫して旋律をつくりましょう。 ●P32 曲想と音楽の特徴との関わりに注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P32 作曲者が記した標題や解説、当時の時代背景から、作品にこめられた思いを感じ取って聴きましょう。 ●P32 作曲者の思いは、音楽のどのようなところから感じられるだろう。 ●P35 繰り返し演奏されるリズムと2つの旋律、音色や強弱の変化に注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P35 繰り返されるリズムと2つの旋律は、どのように発展しているだろう。 ●P38 旋律や楽器の音色に着目し、それぞれの曲の特徴を捉えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P38 オーケストラの楽器は、それぞれの曲でどのようなイメージを表現しているだろう。 ●P42 楽器の音色や奏法と曲想との関わりに注目しながら、尺八楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P42 尺八楽のよさや美しさは、音楽のどのようなところから感じられるだろう。 ●P46 声や楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化などに気を付けながら、能の音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P46 音楽、舞踊、演劇などが一体となった能のよさや美しさを味わいましょう。 ●P46 能のよさや美しさは、どのようなところから感じられるだろう。 ●P48 演奏を聴いたりまねたりしながら声の音色や速度、リズムの変化などを感じ取り、表現を工夫して謡いましょう。 ●P48 謡の特徴を生かして謡うにはどのようにしたらよいだろう。 ●P52 音楽を聴き比べて、それぞれの表現の特徴やよさを感じ取りましょう。 ●P56 楽器の音色、リズム、旋律の特徴などに注目しながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P56 世界各地のさまざまな音楽のよさや美しさは、音楽のどのようなところから感じられるだろう。 ●P58 音色やリズム、旋律、音の重なりなどに気を付けながら、ポピュラー音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ●P58 ポピュラー音楽のよさや美しさは、音楽のどのようなところから感じられるだろう。 ●P68 「大地讃頌」音楽の特徴を感じながら、指揮をしましょう。 ●P72 曲にふさわしい表現を工夫しましょう。 ●P74 パートの重なりなどを生かしながら、思いをこめて歌いましょう。 ●P76 曲想の違いを捉え、各部分の特徴を生かした強弱や音色を工夫しましょう。各パートの重なりや掛け合いを感じ取りながら歌いましょう。 ●P78 強弱を生かしながら、各部分の特徴をコントラスト豊かに表現しましょう。 ●P82 詩と曲の構成との関係を調べて、どのように表現したらよいのか考えましょう。 ●P82 強弱、速度、さらにピアノ伴奏の形の変化にも注目して、曲にふさわしい表現を工夫しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●P12 日本語の美しい響きを大切にしながら、発音に気を付けて歌いましょう。旋律、強弱 ●P16 旋律、強弱 ●P20 曲の形式や構成を理解し全体のまとまりに気を付けて歌いましょう。リズム、強弱、形式、構成 ●P23 音色、テクスチュア ●P24 速度、旋律、強弱 ●P25 同主調、長調、短調、主音 ●P26 リズム、旋律 ●P28 リズム、速度、旋律、構成、ハ長調、4分の4拍子、和音 ●P29 旋律、和音、リズム、反復や変化 ●P30 音色、リズム、速度、テクスチュア、構成、旋律 ●P31 音色、リズム、旋律 ●P32 音色、速度、旋律、強弱 ●P35 音色、リズム、旋律、強弱、構成 ●P36 旋律、リズム ●P37 旋律 ●P38 音色、旋律、テクスチュア ●P42 音色、旋律 ●P46 音色、リズム、速度、旋律 ●P48 音色、リズム、速度、旋律、拍 ●P50 拍、リズム ●P53 音色、旋律 ●P56 音色、リズム、旋律 ●P58 音色、リズム、旋律、テクスチュア ●P68 音色、旋律、テクスチュア、強弱 ●P69 拍子、強弱、拍 ●P86 強弱記号をヒントに全体の構成を理解して歌いましょう。 ●P89 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成 ●P90 単旋律、多声音楽 ●P91 多声音楽 ●P92 ソナタ形式 ●P95 無調の音楽 ●P96 音楽を形づくっている要素

「別紙2-3」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 e 言語活動について具体的に示された箇所】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	番号	具体的な学習活動
教 出	1	曲の特徴を生かして歌おう。	「サウンド・オブ・ミュージック」から「D-O-R-E-E-M-I (ドレミの歌)」「エーデルワイス」	表1	それぞれの曲の特徴についてまとめてみよう
				表2	調べた内容について交流し説明してみよう。
				表3	曲の特徴を生かした表現の仕方について考えてみよう。それをもとに交流してみよう。
		パートの役割を生かして合わせて歌おう。	明日を信じて	表4	どのように変わっているか調べてみましょう。
				表5	曲の山場(クライマックス)の部分を確認し、その部分の特徴をまとめてみましょう。
		表6	まとめたことを生かした表現の仕方について話し合ってみよう。		
		民謡の特徴を捉えてふさわしい声で歌おう	かりぼし切り歌	表7	「ソーラン節」と「かりぼし切り歌」を歌い比べて、共通点や相違点を、みんなで話し合ってみよう。
		郷土のさまざまな民謡	谷茶前、こきりこ節	鑑1	歌詞の内容や歌う場面を調べ、それぞれの特徴を聞き取り、まとめてみましょう。皆さんの地域の民謡についても調べてみましょう。
		日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう	(創作)	表8	七五調の短い歌詞をつくって、リズムをつけてみよう。
				表9	言葉の抑揚を線で表してみよう。
				表10	言葉の抑揚にそって、「ミ」「ソ」「ラ」の音をあてはめ、五線にも書き写してみよう。
				表11	順番で旋律をつくってみよう。
		全体の構成を考えながら音楽をつくろう	(創作)	表12	5~6人のグループになり、表現したいテーマを決め、さまざまな言葉で表してみよう。
				表13	表した言葉をカードにして、繰り返したり重ねたりしてテーマを表現してみよう。
				表14	テーマにそった簡単なストーリーを想像し、構成や言葉の重ね方を工夫して、イメージに合った音楽をつくろう。
				表15	順番で音楽をつくってみよう。
		表16	もう一度、簡単なストーリーや集めた言葉を検討し、交流したことを参考に作品をつくり直してみよう。		
		曲の形式を捉えながら鑑賞しよう。	「和声と創意の試み」第1集「四季」から「春」第1楽章	鑑2	ソネットに描かれている情景と音楽との関わりについて、聴き取ったことや感じ取ったことをまとめておきましょう。
				鑑3	旋律の特徴と反復や変化の仕方、強弱、楽器の音色によく注意して聴き取りましょう。
		曲想の変化を感じ取って鑑賞しよう。	魔王	鑑4	各登場人物の表現の特徴に着目し、聴き取ったことや感じ取ったことをまとめておきましょう。
鑑5	詞の内容や登場人物とピアノ伴奏がどのように関わっているか、また、ピアノが詩の世界をどのように表現しているか、聴き取ったことや感じ取ったことをまとめておきましょう。				
箏曲の多様な表現を鑑賞しよう。	箏曲「六段の調」	鑑6	箏曲「六段の調」と比較してグージョン「漁舟唱晚」やカヤガム「サンジョ」を鑑賞し、気がついたことや感じ取ったことをまとめて交流しよう。		
尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう。	尺八曲「鹿の遠音」	鑑7	気がついた音楽の特徴をまとめてみましょう。また、発表し交流してみよう。		
わが国やアジア地域の、多様で豊かな声による表現を鑑賞しよう。	天台声明 他	鑑8	日本とアジアの声による表現を〈聴き取ったこと〉〈感じ取ったこと〉〈調べたこと・わかったこと〉の三つに整理して比較してみよう。		
		鑑9	それぞれの表現の特徴を踏まえて、共通点や相違点について考えてみよう。そして気がついたことを友達に紹介しよう。		
どんな特徴があるかな?	きらきら星変奏曲	鑑10	音楽は、音色(おんしょく)や旋律など、さまざまな要素から成り立っています。「きらきら星変奏曲」(主題と12の変奏)を聴いて、それらのはたらきに注目し、気がついたことや感じ取ったことを話し合ってみよう。		
		鑑11	音楽を形づけている要素や、雰囲気の変化などについて、聴き取ったり感じ取ったりしたことを、話し合ってみよう。		

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	番号	具体的な学習活動
教 出	2・3上	曲の特徴を生かして歌おう。	You Can Fly!	表1	変化の仕方についてまとめよう。
				表2	ピアノ伴奏が変化する効果について感じ取ったことをまとめよう。
		曲の形式を生かして歌おう。	浜辺の歌 早春賦	表3	二部形式を説明するように、楽譜の空欄にあてはまる内容を記入しよう。
				表4	考えたことを交流して歌ってみよう。
		リズムパターンをつくらう	(創作)	表5	工夫したことなどを説明しよう。
				表6	表現して交流しよう。
		平調子の特徴を生かして音楽をつくらう	(創作)	表7	交流したことを記録しておこう。
				表8	どのリズムが使われているかを記入しよう。
				表9	わかったことを簡単にまとめよう。
				表10	リコーダーや箏で表現して再度交流しよう。どのリズムを使うか記入しよう。
		曲の形式を捉え、パイプオルガンによる表現を鑑賞しよう。	小フーガ ト短調	鑑1	聴き取ったことや感じ取ったことをメモしておきましょう。
				鑑2	旋律の現れ方について、聴き取ったことや感じ取ったことをメモしておきましょう。
				鑑3	「小フーガ ト短調」のよさや魅力について自分やみんなで考え、表にまとめてみよう。
		曲の構成を聴き取り、オーケストラによる表現を鑑賞しよう。	交響曲第五番 ハ短調 作品67	鑑4	変形されて現れるリズムの動機を聴き取り、感じ取ったことをまとめよう。
		鑑5	気に入った楽章について、よかったところやそれを選んだ理由を発表し交流してみよう。		
曲の特徴と構成のおもしろさを味わいながら鑑賞しよう。	ボレロ	鑑6	「ボレロ」のよさや魅力について自分やみんなで考え、下の表にまとめてみよう。		
郷土の音楽や芸能	民謡 他	鑑7	それぞれの表現を比較して、特徴を整理してみよう。		
どんな特徴があるかな?	「アルルの女」第1組曲「前奏曲」	鑑8	気がついたことや感じ取ったことを話し合ってみよう。		
		鑑9	聴き取ったり感じ取ったりしたことを伝え合ってみよう。		
教 出	2・3下	曲の形式を生かして歌おう。	荒城の月	表1	楽譜を確かめながら記入してみよう。
				表2	強弱の変化やブレスの取り方を工夫しながら歌ってみよう。
				表3	どのように表現を工夫するかを考え、楽譜に書き込もう。また考えたことを交流して歌ってみよう。
		言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう	(創作)	表4	グループ内のラーメンと具材を自由に重ねて表現し、交流しよう。
				表5	交流したことを記録しておこう。
		CMソングをつくらう	(創作)	表6	つくったCMソングと自分の感じたことを発表して、交流しよう。
		曲想を感じ取り、音楽の背景を理解して鑑賞しよう。	交響詩「フィンランディア」	鑑1	音楽の表現とフィンランドの独立を願ったシベリウスの思いなどについて発表し交流してみよう。
		オペラの豊かな表現を鑑賞しよう。	オペラ「アイダ」から第2幕第2場	鑑2	自分にとって、見どころ、聴きどころだと思う場面を選び、その魅力を述べてみよう。
				鑑3	聴き取ったことや感じ取ったことをまとめておきましょう。
		歌舞伎の豊かな表現を鑑賞しよう。	歌舞伎「勸進帳」	鑑4	長唄の特徴や印象に残った場面を、理由とともにまとめておきましょう。
		文楽の豊かな表現を鑑賞しよう。	文楽「義経千本桜」から 二段め 大物浦の段	鑑5	歌舞伎「勸進帳」と聴き比べて、気がついたことを話し合ってみよう。
		多様な芸能や音楽の表現を鑑賞しよう。	ジンジュ(京劇)「西遊記」から 他	鑑6	音楽と舞台との関係について考えながら鑑賞し、よさやおもしろさについて述べてみよう。
				鑑7	音楽の役割や効果を考えながら鑑賞し、それぞれの特徴について自分の考えを述べてみよう。
		表現の仕方を調べてみよう	歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイダ」	鑑8	音楽の役割やその特徴、自分が着目したことなどを比較しながら整理してみよう。
		鑑9	気がついたことを友達に紹介しよう。		
どんな特徴があるかな? プレゼンしよう	(今まで授業で鑑賞した曲)	鑑10	曲の特徴や雰囲気など、聴き取って感じ取ったことと合わせてプレゼンテーションをしましょう。		

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e 言語活動について具体的に示された箇所】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	番号	具体的な学習活動
教 芸	1	曲の構成を理解して演奏しよう。	主人は冷たい土の中に(静かに眠れ)	表1	各段の旋律の特徴や強弱などがどのようになっているかを確認、表に書きましょう。
				表2	この曲の旋律の特徴や曲の構成がどのようになっているか、グループで話し合いましょう。
				表3	フェルマータを付けて歌うことによって、どのような感じになりますか。フェルマータの付いた音をどのように延ばすとよいか、また、フェルマータの後は、強弱や速度をどのように工夫して歌えばよいか考え、いろいろな表現を試してみましょう。
		音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう。	My Melody	表4	音のつながり方を確認し、どのような感じがするかを話し合いましょう。
				表5	リズムチャレンジでつくったリズムをワークシートに書きましょう。
				表6	イメージをもとに音のつながり方を工夫しながら旋律をつくって、ワークシートに書きましょう。また工夫した点を書きましょう。
				表7	中間発表をして、つくった旋律について意見交換をしましょう。
				表8	意見交換したことを参考に旋律を完成させて、もう一度発表しましょう。
		歌詞や旋律、伴奏から情景を想像して歌おう。	浜辺の歌	表9	曲の印象や想像した情景について、自由に話し合いましょう。
				表10	音楽の特徴として聴き取ったことや感じ取ったこと、歌詞の内容などを表に書き、関わりがあると思うものを線で結びましょう。
				表11	表に書いた内容について、ペアやグループで話し合い、自分の考えを広げたり深めたりしましょう。
				表12	1段目と2段目をどのように歌いたいかを考え、その内容を楽譜に書き入れましょう。その際は、ペアやグループで歌い試しながら取り組みましょう。
				表13	3段目と4段目をどのように歌いたいかを考え、その内容を楽譜に書き入れましょう。その際は、ペアやグループで歌い試しながら取り組みましょう。
				表14	ペアやグループで工夫したことを歌って発表し、よいと思ったところやアドバイスなどを互いに伝え合いましょう。
				表15	これまでの学習を踏まえ、あなたは、特にこの曲の3段目をどのように歌いたいですか。また、そのためにどのような工夫をしますか。書きましょう。
		拍ののって、響きのある声で合唱しよう。	夢の世界を	表16	各部分について、演奏を聴いたり歌ったりしながら、音楽や歌詞から気付いたことや、感じ取ったことを表に書きましょう。その際、「注目するポイント」を参考にしましょう。
				表17	気付いたことや感じ取ったことを手がかりに、3つのパートを歌い合わせながら、AとBの各部分をどのように歌いたいか話し合っ、表に書きましょう。
		イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。	イメージと音楽	鑑1	感じたことや思い浮かべた様子などを書きましょう。そして、この曲に対するイメージについてペアやグループで伝え合いましょう。
				鑑2	この曲のどのようなところからそう感じたのか、その様子が思い浮かんだのかを、「注目するポイント」と関わらせながら書きましょう。
				鑑3	この曲が映画の中でどのような役割を果たしているのかについて、気付いたことや考えたことを書きましょう。
				鑑4	「さまざまな映画とその音楽」で紹介している曲や、興味のある映像作品の音楽を聴いて考えましょう。
		構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろう。	Let's Create!	表18	2つの風景からどちらかを選び、自分たちが表したい場面を考え、ワークシートに書きましょう。
				表19	グループで話し合っ、音素材を選びましょう。
				表20	グループで話し合いながら強弱や構成を工夫して音楽をつくりましょう。
				表21	つくった音楽は、図形などを使って、ワークシートに書きましょう。また、考えた場面のイメージを表すために、音素材を選んだ理由や、構成を工夫した点を書きましよう。
				表22	中間発表をして、つくった音楽について意見交換をしましょう。
		音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。	春 一第1楽章(「和声と創意的試み」第1集「四季」から)他(計4曲)	鑑5	それぞれのソネットと関わらせながら聴いて、音楽の特徴として聴き取ったことや、感じ取ったことを下の表に書きましょう。
				鑑6	ソネットに描かれている情景が、音楽でどのように表現されているか、書いたことをもとに話し合い、もう一度その部分を聴いて確かめましょう。
				鑑7	この曲の音楽の特徴について気付いたことや、この音楽のよさについて感じたことなどを書きましょう。
		曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。	魔王-Erlkönig-	鑑8	音楽の特徴と歌詞が表す情景や心情との関わりについて考えましょう。
鑑9	ピアノ伴奏に着目して、前奏部分や楽譜を見ながら聴き、思い浮かべた場面や情景について考えましょう。				
鑑10	作曲者はどのような工夫をしていると思いますか。友達と意見交換をしましょう。				
鑑11	演奏者は、語り手やそれぞれの登場人物を歌い分けるために、どのような工夫をしていると思いますか。歌詞が表す情景や心情と関わらせて考えましょう。				
鑑12	聴き取ったことや感じ取ったことを書きましょう。				
日本に古くから伝わる合奏を聴こう。	平調 越天楽	鑑13	曲を聴いて確かめたり話し合ったりして、この曲の特徴について考えたことを書きましょう。		
日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう。	箏曲「六段の調」	鑑14	「平調 越天楽」のよさや美しさについて書き、意見交換しましょう。		
郷土に伝わる民謡を調べよう。	郡上節 他	鑑15	全体を通して、速度や曲想はどのように変化しているかな? 気付いたことをみんなで話し合おう。		
アジア各地の音楽を聴こう。	ドゥクドゥク 他	鑑16	自分たちの住んでいる地域にはどのような民謡が伝わっているのか、インターネットなどを活用して調べましょう。		
		鑑17	興味のあるものを1つ選び、表に書き入れましょう。また、その演奏を聴いてどのような感じがするか、それは音楽のどのようなところから感じられるかを表に書きましよう。		
		鑑18	選んだ音楽(楽器や声)について調べ、表に書きましょう。		
		鑑19	その音楽のよさや美しさについて、あなたの考えたことを表に書きましょう。		
		鑑20	ペアやグループになり、自分の選んだ音楽について伝え合いましょう。その際、自分が聴き取ったことや感じ取ったことを交えて、あなたの考えるよさや美しさも伝えましよう。		
音楽の学びを振り返ろう		鑑21	意見交換や、演奏を聴いて確認したことをもとに、アジア各地のさまざまな音楽について、あなたの気付いたことや考えたことを書きましょう。		
		表24	「注目するポイント」を参考にしながら、あらためて曲を聴いたり、曲について調べたりして、聞き取ったことや感じ取ったこと、分かったことなどから音楽の特徴を捉え、其の曲のよさや聴きどころを伝える紹介文を書きましよう。		
		表25	紹介文をもとにプレゼンしましょう。		
		表26	友達のプレゼンを聞いて、詳しく知りたいことについて質問したり、よいと思ったことを伝えたりしましょう。		

「別紙2-3」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 e 言語活動について具体的に示された箇所】(中学校 音楽一般)

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	番号	具体的な学習活動
教 芸	2 ・ 3 上	パートの役割を理解して合唱しよう。	翼をください	表1	音楽の特徴について、ヒントを参考にしながら確かめ、表に書きましょう。
				表2	どのように表現を工夫したいかを考え、表に書きましょう。また、参考にしたい友達の見聞も書き留めて、自分たちの演奏に生かしましょう。
		情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。	夏の思い出	表3	音楽や歌詞から気付いたことや感じ取ったことを表に書きましょう。
				表4	気付いたことや感じ取ったことを手がかりに歌い直し、どのように歌いたいかを話し合っ、表に書きましょう。
		曲想の変化を生かして表情豊かに歌おう。	Joyful, Joyful	表5	曲想の違いを感じ取り、友達と意見交換をしましょう。
		言葉の抑揚を生かして旋律をつくらう。	My Melody	表6	俳句を音読しながら描かれている情景を思い浮かべ、俳句のイメージをワークシートに書きましょう。また、言葉の抑揚を調べ、メモに書きましょう。
				表7	ワークシートの「使う音」の中から音を選んで○で囲みましょう。また、工夫した点を書きましょう。
				表8	中間発表をして、つくった旋律について意見交換をしましょう。
				表9	意見交換したことを参考に旋律を完成させて、もう一度発表しましょう。
				表10	旋律が完成したら、ワークシートの五線に書きましょう。
		音の特徴や重なり方、構成を工夫してリズムアンサンブルをつくらう。	Let's Create!	表11	手拍子と足踏みの音の特徴を感じ取って表に書きましょう。
				表12	2人でリズムを重ねて手拍子で打ち、それぞれの重なり方による特徴を感じ取って表に書きましょう。
				表13	つくりたいリズムアンサンブルのイメージを下のA~Cから選んで、ワークシートに書きましょう。自分たちの考えたイメージでつくりたい場合は、それを言葉で書きましょう。
				表14	音の出し方を工夫してリズムアンサンブルをつくらう、ワークシートに書きましょう。また、イメージを表すために、音の出し方や重ね方、反復、変化、対照などの構成を工夫した点をワークシートに書きましょう。
				表15	中間発表をして、つくった音楽について意見交換をしましょう。
				表16	意見交換したことを参考に音楽を完成させて、もう一度発表しましょう。
		曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう。	交響曲第五番 ハ短調	鑑1	第1主題を聴いて、音楽の特徴として聴き取ったことや感じ取ったことを、表に書きましょう。
				鑑2	第2主題について音楽の特徴として聴き取ったことや感じ取ったことを、表に書きましょう。
				鑑3	展開部、再現部、コーダそれぞれの部分を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを、表に書きましょう。また、書いたことについて意見交換しましょう。
				鑑4	批評文を書きましょう。
				鑑5	感じたことや気に入ったところ、よさや美しさについて、なぜそう思ったのか理由も書こう。
オペラと歌舞伎のよさについて考えよう	「アイーダ」、「勅進帳」	鑑6	それぞれの相違点や共通点を表に書きましょう。		
		鑑7	考えたことなどをまとめ、意見交換をしましょう。		
受け継ごう！郷土の祭りや芸能		鑑8	郷土に伝わる祭りや芸能を他の地域の人々に紹介できるように、インターネットなどを活用して調べてもいいね。		
世界のさまざまな声の音楽を味わおう。	世界の諸民族の音楽	鑑9	演奏を聴いて、聴き取ったことや感じ取ったことを、表に書きましょう。		
		鑑10	選んだ芸能や音楽の「声による表現の特徴」について調べ、表に書きましょう。		
		鑑11	その音楽のよさや美しさについて、あなたの考えたことを表に書きましょう。		
		鑑12	ペアやグループになり、書いたことを伝え合ひましょう。		
		鑑13	意見交換や、演奏を聴いて確認したことをもとに、世界各地のさまざまな芸能や音楽について、あなたの気付いたことや考えたことを書きましょう。		
自分たちの表現を工夫しよう	時の旅人	表17	この音楽の特徴や歌詞との関わりなどについて気付いたことを話し合ひましょう。		
		表18	どのようにして歌いたいかを話し合ひ、自分たちの表現を工夫して歌いましょう。		
音楽の学びを振り返ろう		表19	「注目するポイント」を参考にしながら、あらかじめ曲を聴いたり、曲について調べたりして、聞き取ったことや感じ取ったこと、分かったことなどから音楽の特徴を捉え、その曲のよさや聴きどころを伝える紹介文を書きましょう。		
		表20	紹介文をもとにプレゼンしましょう。		
		表21	プレゼンした感想や、友達のプレゼンを聞いて気付いたこと、あなたがこれまでの音楽の授業で学んだことなどを書きましょう。		

発行者	学年	題材(項目)名	曲名	番号	具体的な学習活動
教 芸	2 ・ 3 下	和音の動きに合わせてまとまりのある旋律をつくろう。	My Melody	表1	つくった旋律はワークシートに書きましょう。また、音のつながり方で工夫した点を書きましょう。
				表2	中間発表をして、つくった旋律について意見交換をしましょう。
				表3	意見交換したことを参考に旋律を完成させて、もう一度発表しましょう。
				表4	旋律が完成したら、ワークシートの五線に書きましょう。
		伴奏を工夫して自分だけの音楽をつくろう。	Let's Create!	表5	中間発表をして、つくった旋律について意見交換をしましょう。
				表6	意見交換したことを参考に旋律を完成させて、もう一度発表しましょう。
		楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わおう。	ポレロ	鑑1	この曲のよさや聴きどころを伝える紹介文を書きましょう。
		伝統音楽の魅力を見つけよう	能「安宅」 歌舞伎「勸進帳」 文楽「鳴響安宅新聞」	鑑2	それぞれの音楽を聴いて、気付いたことを表にまとめましょう。
		私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能		鑑3	地域に伝わるかけがえのない文化を、私たちも次の時代に大切に伝えていきたいね。
		ポピュラー音楽のジャンル(日本編)		鑑4	ふだん聴いている曲の中から2曲を選び、その音楽の特徴をワークシートに書きましょう。
鑑5	友達と発表し合い、さまざまな音楽のジャンルがあることを知しましょう。				
音楽の学びを振り返ろう		表7	音楽の授業で学んだことを振り返りながら、みんなに薦めたい1曲を選び、あなたが考えたその曲のよさをプレゼンテーションしましょう。		
		表8	曲のよさや聴きどころを伝える紹介文を書きましょう。		
		表9	紹介文をもとに、プレゼンしましょう。		
		表10	互いのプレゼンを参考にしながら、あなたが3年間の音楽の授業で学んだことや、これから音楽とどのように関わっていききたいかなどを書きましょう。		

発行者	学年	取り上げている内容	具体的な学習の内容
教 出	1	記載なし	記載なし
	2・3上	記載なし	記載なし
	2・3下	音の三要素	音量、音高と音色についての物理的な側面からの説明
教 芸	1	記載なし	記載なし
	2・3上		
	2・3下		

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
教出	<p>「国歌 君が代」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【歌詞】(1年P86)(2・3上P86)(2・3下P86) ・【楽譜(ピアノ伴奏付き)】(1年P86~87)(2・3上P86~87)(2・3下P86~87) ・【本文】歌詞の大意及び解説(1年P87)(2・3上P87)(2・3下P87) <p>歌詞の大意:「細石が集まりやがて大きな岩となり その上を苔が一面に覆うほどの永きにわたり 日本の平和と繁栄が末永く続くことを願う」</p> <p>解説:「君が代」は、日本の国歌です。日本がいつまでも平和で栄えるようにとの願いがこめられています。世界の人々も、私たちと同じようにそれぞれの国や地域を大切に思い、平和や発展を願っています。そのような気持ちを互いに尊重し合うことが大切です。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】細石の写真 1点(1年P87)(2・3上P87)(2・3下P87)
教芸	<p>「国歌 君が代」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【歌詞】(1年P99)(2・3上P99)(2・3下P99) ・【楽譜(ピアノ伴奏付き)】(1年P98)(2・3上P98)(2・3下P98) ・【本文】歌詞の大意及び解説(1年P98)(2・3上P98)(2・3下P98) <p>歌詞の大意:「日本の国が、細かい石が集まり固まって大きな岩となり、苔で覆われてしまうほどの長い間(=永久に)平和が続きますように。」</p> <p>解説:「国歌「君が代」の歌詞は、平安時代に成立した「古今和歌集」に収録されている和歌をもとにしたもので、旋律は明治13(1880)年につくられました。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】国歌・国旗と国際的儀礼の写真 1点(1年P99)(2・3上P99)(2・3下P99)

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
教出	<p>「私たちのくらしと音楽」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】音楽家による被災地での「アウトリーチ（演奏者が出向いて音楽を楽しんでもらう活動）」について（2・3年下P66） ・【写真】兵庫県西脇市の中学校で行われたワークショップやコンサート（2・3年下P66） 東日本大震災後、岩手県大槌町の小学校で行われたワークショップ（2・3年下P66）
教芸	<p>「私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】秋田竿燈まつり 東日本大震災の復興を願って、生徒が岩手県久慈市を訪問し、演技を披露した。（2・3年下P55） 【写真】生徒が竿燈を操り演技している様子（2・3年下P55） <p>「歌い継ごう日本の歌」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【楽譜】花は咲く（2・3年下P70、P71） ・【解説】NHKが行っている、東日本大震災の復興支援プロジェクトの一環としてつくられた歌（2・3年下P70）

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
教出	<p>「国歌 君が代」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】皆さんは、どのようなときに国歌を歌ったり聴いたりしますか。 (2・3年上P87)(2・3年下P87) ・【写真】東京2020オリンピック（ソフトボール）試合前（2・3年上P87）、東京2020パラリンピック（車いすバスケットボール）試合前（2・3年下P87）
教芸	<p>「国歌 君が代」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】国歌は、国内で行われる式典や行事、大会の他、オリンピック・パラリンピックやスポーツの国際試合など、国際的な場面や場所でもよく歌われます。 (1年下P99、2・3年下P99) ・【写真】2021年東京オリンピックの開会式で、国旗掲揚に合わせて「君が代」を歌う日本人歌手（1年P99） 2021年東京パラリンピック（車いすバスケットボール女子）の試合前に、互いの肩に手を置いて「君が代」を聴く日本代表選手たち（2・3年下P99） <p>「Hey Jude」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】2012年に開催されたロンドンオリンピックの開会式で、フィナーレにポールマッカートニーがこの曲を演奏した際は、スタジアム全体が大合唱に包まれました。（2・3年下P27）

項目 発行者	ア 目次、表記、表現の工夫	イ 絵、図、写真、資料、楽譜等の工夫	ウ 単元構成の工夫	エ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	オ ユニバーサルデザインの視点	カ デジタルコンテンツの扱い	キ その他
教出	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、鑑賞、創作が色分けされて表記されている。 ・目次に加えて、「学習MAP」のページでは、題材のまとまりや関連する教材を示している。「学習MAP」では学習の進め方として、「音楽を形づくっている要素」を手がかりにして示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲に関連する写真がカラーで豊富に掲載されている。 ・各教材で考えさせたり工夫させたりしたい内容等を、人物の絵や吹き出しを用いて示している。 ・鑑賞教材において、様々な種類の楽譜が提示されている。 ・巻頭ページに、各界のプロフェッショナルから中学生へのメッセージを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と表現を関連付けながら学習できるような教材の構成・配列がなされている。 ・曲想や音楽の構造などを比較して学びを広げられるよう、「比べてみよう」を設定し、教材同士を結び付けられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導のねらいに照らして適切な教材を、学びが深まる構成や配列で提示している。 ・進んで学び合うための活動などとして「Active!」を設定し、考えたことや感じたこと等を設定している。 ・「学習MAP」において、教材と学習の進め方を提示することで、主体的・協働的な学びを深められるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。 等が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目次ページに掲載されている二次元コードから「まなびアリンク」にアクセスすることで、学習に関連する音源を聴いたり、ワークシートを閲覧したりすることができる。 ・「コンピュータと音楽」では、音楽の学習におけるコンピュータの活用方法の例や著作権等について示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽の手カラで人と社会を未来へつなぐ」では、「アウトリーチ」、「教育活動」について触れている。 ・クラシック音楽だけでなく、日本や海外のポピュラー音楽など、様々なジャンルの作品を紹介している。 ・発展的な内容を扱うところでは、「中学校音楽で定められた学習内容の他に、さらに学習したいときには取り組んでみましょう。」と明示されている。
教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、鑑賞、創作が色分けされて表記されている。 ・目次に加えて、音楽科で学習する内容をまとめたページでは、教材と学習内容との関連とともに、各教材に関する「音楽を形づくっている要素」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲に関連する写真がカラーで豊富に掲載されている。 ・各教材で考えさせたり工夫させたりしたい内容等を、人物の絵や吹き出しを用いて示している。 ・鑑賞教材において、様々な種類の楽譜が提示されている。 ・巻頭ページに、各界のプロフェッショナルから中学生へのメッセージを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と表現を関連付けながら学習できるような教材の構成・配列がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考える観点を例示することで、主体的・対話的な学びを導き出す工夫をしている。 ・主体的・対話的で深い学びを引き出すため、人物が意見交換する様子を吹き出しで示すなどしている。 ・「学びのコンパス」において、学習の手順を丁寧に示し、その中で、「何を考えるのか」「何を工夫するのか」が明確に分かるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・すべての生徒の色覚特性に適應することを旨としてデザインしている。 等が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各パートに掲載されている二次元コードを読み取ること、巻頭ページの各界のプロフェッショナルからのメッセージや学習に関連する音源を聴いたり、ワークシートを閲覧したりすることができる。 ・「ルールを守って音楽を楽しもう!」では、著作権等やコンピュータを活用した音楽等について示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活や社会の中の音や音楽」のページを設定し、生活や社会の中の音や音楽について知り、それらと自分たちとのつながりを実感できるよう工夫している。 ・クラシック音楽だけでなく、日本や海外のポピュラー音楽など、様々なジャンルの作品を紹介している。